
第136回日本森林学会大会プログラム

会 期 2025年3月20日～3月22日

会 場 北海道大学 農学部および学術交流会館（北海道札幌市北区北8条西5丁目）

公開シンポジウムは北海道大学 学術交流会館 講堂で開催し、インターネットで配信します。

大会日程

3月20日（木・祝）

9:30～10:00【開会式】

10:00～12:00【日本森林学会各賞授賞式・受賞者講演】

12:00～13:00【JFR編集委員会】

13:00～16:30【公開シンポジウム】北海道の広葉樹資源を活かす

18:00～20:00【懇親会】

3月21日（金）

9:00～12:00【研究発表】企画シンポジウム、公募セッション、部門別発表

12:00～13:00【学会企画】ランチョンミーティング

「選択的夫婦別姓制度の必要性を考える」

12:00～13:00【日本森林学会誌編集委員会】

13:00～14:00【研究発表】ポスター発表の質疑応答（対面会場）

14:15～18:00【研究発表】企画シンポジウム、公募セッション、部門別発表

17:00～19:00【学会企画】国際交流会

17:30～18:30【学会企画】JFRのData Noteに投稿しよう！

3月22日（土）

9:00～12:00【研究発表】部門別発表

12:00～13:00【森林科学編集会議】

12:00～14:00【研究発表】高校生ポスター発表コアタイム

13:00～14:00【研究発表】ポスター発表の質疑応答（対面会場）

14:15～16:00【学会企画】第12回高校生ポスター発表表彰式および
高校生対象の大学ツアー

14:15～18:00【研究発表】企画シンポジウム、部門別発表

15:15～16:15【学会企画】日林誌の使い方

16:30～18:00【閉会式】

大会スケジュール 3月20日

会場	講堂 (学术交流会館)	N31 (農学部)
開始時刻		
9:00		
9:15	開会式・授賞式・講演	
9:30	開会式 森林学会各賞授賞式 受賞者講演	
9:45		
10:00		
10:15		
10:30		
10:45		
11:00		
11:15		
11:30		
11:45		
12:00		
12:15		JFR編集委員会
12:30		
12:45	公開シンポジウム	
13:00	北海道の広葉樹資源を活かす	
13:15		
13:30		
13:45		
14:00		
14:15		
14:30		
14:45		
15:00		
15:15		
15:30		
15:45		
16:00		
16:15		
16:30		
16:45		
17:00		
17:15		
17:30		
17:45		
18:00		
18:15		
18:30		
18:45		

大会スケジュール 3月21日

会場	W109 (総合研究棟)	S12 (農学部)	N11 (農学部)	N13 (農学部)	会場	S22 (農学部)	N21 (農学部)	N23 (農学部)	会場	S32 (農学部)	N31 (農学部)	大講堂 (農学部)
開始時刻	S4 林業はどこでやる	S9 竹林の価値創出	T1 生物多様性保全	S3 降雪地の森林管理	開始時刻	T3 デジタルツイン	S6 生理部門シンポ	造林1	開始時刻	経営1	T4 樹木根	林政1
9:00	S4-1	S9-1	趣旨説明	S3-1	9:00	T3-1	S6-1	E1	9:00	D1	T4-1	A1
9:15	S4-2	S9-2	T1-1	S3-2	9:15	T3-2	S6-2	E2	9:15	D2	T4-2	A2
9:30	S4-3	S9-3	T1-2	S3-3	9:30	T3-3	S6-3	E3	9:30	D3	T4-3	A3
9:45	S4-4	S9-4	T1-3	S3-4	9:45	T3-4		討論・調整	9:45	D4	討論・調整	A4
10:00	S4-5	S9-5	T1-4		10:00	討論・調整		教育1	10:00	D5	T4-4	A5
10:15	S4-6		T1-5		10:15	T3-5		C1	10:15	討論・調整	T4-5	討論・調整
10:30			T1-6		10:30	T3-6		C2	10:30	D6	T4-6	A6
10:45			T1-7		10:45	T3-7		C3	10:45	D7	討論・調整	A7
11:00			T1-8	特用林産	11:00	討論・調整		討論・調整	11:00	D8	T4-7	A8
11:15			T1-9	N1	11:15	T5 森林の放射能		C4	11:15	D9	T4-8	A9
11:30			T1-10	N2	11:30	ポスター紹介		C5	11:30	D10	T4-9	A10
11:45			討論・調整	討論・調整	11:45		学会企画1	討論・調整	11:45	討論・調整	討論・調整	討論・調整
12:00					12:00				12:00			
12:15					12:15				12:15			
12:30					12:30		ランチョンミーティング「選教的夫婦別姓制度の必要性を考える」 ※12:00開始		12:30		日本森林学会誌 編集委員会	
12:45					12:45				12:45			
13:00	ポスター発表の質疑応答 (対面会場)				13:00	ポスター発表の質疑応答 (対面会場)				13:00	ポスター発表の質疑応答 (対面会場)	
13:15					13:15					13:15		
13:30					13:30					13:30		
13:45					13:45					13:45		
14:00	S7 大気森林生理生態	S2 木バイ供給拡大	S1 保持林業	T2 森林の保健休養	14:00	T6 ネットゼロ森林	T5 森林の放射能	S5 森林サービス産業	14:00	経営2		林政2
14:15	S7-1	S2-1	S1-1	T2-1	14:15	T6-1	T5-1	S5-1	14:15	D11		A11
14:30	S7-2	S2-2	S1-2	T2-2	14:30	T6-2	T5-2	S5-2	14:30	D12		A12
14:45	S7-3	S2-3	S1-3	T2-3	14:45	T6-3	T5-3	S5-3	14:45	D13		A13
15:00	S7-4	S2-4	S1-4	T2-4	15:00	T6-4	討論・調整	S5-4	15:00	D14		A14
15:15	S7-5	S2-5	S1-5	討論・調整	15:15	討論・調整	T5-4		15:15	討論・調整		討論・調整
15:30	S7-6	S2-6	S1-6		15:30	T6-5	T5-5		15:30	D15		A15
15:45	S7-7	S2-7	S1-7		15:45	T6-6	T5-6		15:45	D16		A16
16:00		S2-8	S1-8		16:00	T6-7	T5-7		16:00	D17		A17
16:15					16:15	討論・調整	討論・調整		16:15	D18		A18
16:30					16:30	T6-8	T5-8		16:30	討論・調整		討論・調整
16:45					16:45	T6-9	T5-9		16:45	D19	学会企画2	A19
17:00					17:00	T6-10	T5-10		17:00	D20		A20
17:15				学会企画3	17:15	T6-11	T5-11		17:15	D21		A21
17:30					17:30	T6-12	討論・調整		17:30	討論・調整		A22
17:45				JFRのData Noteに投稿しよう！	17:45	討論・調整			17:45		国際交流会	討論・調整
18:00					18:00				18:00			
18:15					18:15				18:15			
18:30					18:30				18:30			
18:45					18:45				18:45			

大会スケジュール 3月22日

会場	W109 (総合研究棟)	S11 (農学部)	S12 (農学部)	N11 (農学部)	N13 (農学部)	会場	S21 (農学部)	S22 (農学部)	N21 (農学部)	N23 (農学部)	会場	S31 (農学部)	S32 (農学部)	N31 (農学部)	大講堂 (農学部)	小講堂 (学術交流会館)	
開始時刻	植物生態	風致・観光1	教育2	造林2	立地1	開始時刻	防災・水文1	動物・昆虫1	生理	遺伝・育種1	開始時刻	経営3	微生物1		林政3		
9:00	H1	B1	C6	E4	I1	9:00	J1	L1	G1	F1	9:00	D22	M1		A23		
9:15	H2	B2	C7	E5	I2	9:15	J2	L2	G2	F2	9:15	D23	M2		A24		
9:30	H3	B3	C8	E6	I3	9:30	J3	L3	G3	F3	9:30	D24	M3		A25		
9:45	討論・調整	討論・調整	C9	討論・調整	I4	9:45	討論・調整	討論・調整	G4	F4	9:45	D25	討論・調整		A26		
10:00	H4	B4	C10	E7	I5	10:00	J4	L4	討論・調整	F5	10:00	討論・調整	M4		A27		
10:15	H5	B5	討論・調整	E8	討論・調整	10:15	J5	L5		討論・調整	10:15	D26	M5		討論・調整		
10:30	H6	B6	C11	E9	I6	10:30	J6	L6	利用1	F6	10:30	D27	M6		A28		
10:45	討論・調整	討論・調整	C12	討論・調整	I7	10:45	討論・調整	討論・調整	K1	F7	10:45	D28	討論・調整		A29		
11:00	H7	B7	C13	E10	I8	11:00	J7	L7	K2	F8	11:00	D29	M7		A30		
11:15	H8	B8	C14	E11	I9	11:15	J8	L8	K3	F9	11:15	討論・調整	M8		A31		
11:30	H9	B9	C15	E12	I10	11:30	J9	L9	K4	F10	11:30		M9		A32		
11:45	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	11:45	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	11:45		討論・調整		討論・調整		
12:00	ポスター発表の質疑応答 (対面会場) {高校生ポスター: 12:00-14:00} {一般ポスター: 13:00-14:00}					12:00	ポスター発表の質疑応答 (対面会場) {高校生ポスター: 12:00-14:00} {一般ポスター: 13:00-14:00}					12:00	ポスター発表の質疑応答 (対面会場) {高校生ポスター: 12:00-14:00} {一般ポスター: 13:00-14:00}				
12:15						12:15						12:15					
12:30						12:30						12:30					
12:45						12:45						12:45					
13:00						13:00						13:00					
13:15						13:15						13:15					
13:30						13:30						13:30					
13:45						13:45						13:45					
14:00	S10 北海道の広葉樹	風致・観光2	S8 森林教育の発展	造林3	立地2	14:00	防災・水文2	動物・昆虫2	利用2	遺伝・育種2	14:00	経営4	微生物2		林政4	学会企画4	
14:15	S10-1	B10	S8-1	E13	I11	14:15	J10	L10	K5	F11	14:15	D30	M10		A33	高校生ポスター 表彰式	
14:30	S10-2	B11	S8-2	E14	I12	14:30	J11	L11	K6	F12	14:30	D31	M11		A34		
14:45	S10-3	B12	S8-3	E15	I13	14:45	J12	L12	K7	F13	14:45	D32	M12		A35		
15:00	S10-4	B13	S8-4	E16	I14	15:00	討論・調整	討論・調整	K8	F14	15:00	D33	M13	学会企画5	A36		
15:15	S10-5	討論・調整	S8-5	討論・調整	討論・調整	15:15	J13	L13	K9	F15	15:15	D34	討論・調整	日林誌の使い方	討論・調整	大学ツアー	
15:30	S10-6	B14	S8-6	E17	I14	15:30	J14	L14	討論・調整	討論・調整	15:30	討論・調整	M14		A37		
15:45	S10-7	B15	S8-7	E18	I15	15:45	J15	L15	K10	F16	15:45	D35	M15		A38		
16:00	S10-8	B16		E19	I16	16:00	討論・調整	討論・調整	K11	F17	16:00	D36	M16		A39		
16:15		B17		E20	I17	16:15	J16	L16	K12	F18	16:15	D37	討論・調整	A40			
16:30		討論・調整		討論・調整	討論・調整	16:30	J17	L17	K13	F19	16:30	D38	M17	閉会式	討論・調整		
16:45				E21	I18	16:45	J18	L18	討論・調整	F20	16:45	D39	M18	A41			
17:00				E22	I19	17:00	討論・調整	L19		討論・調整	17:00	討論・調整	M19	A42			
17:15				E23		17:15		討論・調整			17:15		討論・調整	A43			
17:30				討論・調整		17:30					17:30			A44			
17:45						17:45					17:45			討論・調整			
18:00						18:00					18:00						
18:15						18:15					18:15						
18:30						18:30					18:30						
18:45						18:45					18:45						

研究発表題目（企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表）3月21日午前 1/2

会場	W109 (総合研究棟)	S12 (農学部)	N11 (農学部)	N13 (農学部)	S22 (農学部)
開始時刻	S4 林業はどこでやる	S9 竹林の価値創出	T1 生物多様性保全	S3 降雪地の森林管理	T3 デジタルツイン
9:00	S4-1 林地生産力評価方法の変遷と課題：寺岡行雄（鹿児島大学）	S9-1 日本のタケ類とその生態的特徴：小林慧人（森林総合研究所）	趣旨説明	S3-1 高解像度地域気候モデルを用いた地球温暖化の日本の降雪・積雪への影響評価：川瀬宏明（気象庁気象研究所）	T3-1 フォワードの自動走行マルチオペレーション技術の開発：中澤昌彦（森林総合研究所）
9:15	S4-2 地域におけるスギ樹高成長予測に基づくゾーニング：中尾勝洋（森林総合研究所）	S9-2 竹林の揮発性有機化合物放出—竹林管理と気候変動における大気質への影響：張庭維（国立台湾大学）	T1-1 マツ材線虫病による絶滅危惧種ヤクタンゴヨウの衰退：金谷整一（森林総合研究所九州支所）	S3-2 北海道における積雪・融雪量の地球温暖化による変化：勝山祐太（森林総合研究所）	T3-2 山地災害の被災状況をデジタルツイン化する技術開発：秋田寛己（国立研究開発法人防災科学技術研究所）
9:30	S4-3 スギ挿木品種の葉の機能形態の可塑性と攪乱に対する成長反応：榎木勉（九州大学）	S9-3 竹林の発揮してきた文化機能：岩松文代（北九州市立大学）	T1-2 樹冠ごとの樹冠直上でのrPPFDの違いが成長に及ぼす影響：谷口真吾（琉球大学）	S3-3 暖地積雪地帯における森林の貯雪・融雪遅延機能の評価：藤原洋一（石川県立大学）	T3-3 UAVによる森林施業竣工検査の効率化：大槻峻介（名古屋大学）
9:45	S4-4 成長に優れたスギ系統を植えるかどうか？—林業採算性評価のための取組み—：松下通也（森林総合研究所）	S9-4 ライフサイクルアセスメントから見える竹材利用の温室効果ガス削減の可能性：井上岳（東京農工大学大学院）	T1-3 温帯二次林における甲虫群集の垂直層構造とその季節変化：吉田智弘（東京農工大学）	S3-4 融雪期の水流出に対する伐採影響の長期的変化—釜淵森林理水試験地の事例—：阿部俊夫（森林総合研究所）	T3-4 ハンドヘルド型LiDARによる森林計測 ～現状と課題～：瀧誠志郎（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）
10:00	S4-5 木材生産技術から見た生産適地判定における課題：齋藤仁志（岩手大学）	S9-5 日本の竹林における炭素蓄積量の推移の推定：井上昭夫（近畿大学）	T1-4 生態系修復型の広葉樹林業に向けた森林環境調査—地表徘徊性甲虫を対象に：時任美乃理（京都大学）		討論・調整
10:15	S4-6 GISシミュレーションによる路網作設・集材搬出適地の選定：白澤敏明（森林総合研究所）		T1-5 樹種混植は樹木の生存率を高めるか？—樹木多様性操作実験の初期結果より—：齋藤大（東京大学）		T3-5 林分スケールのデジタルツインへ：個体ベースモデルで挑む可能性と課題：佐藤永（海洋研究開発機構）
10:30			T1-6 市民調査による葉面DNAの解析—飛騨市の広葉樹林を事例に—：浅野悟史（京都大学）		T3-6 立木段階における原木の質的データ推定の試み：原田喜一（京都府立大学大学院）
10:45			T1-7 北海道根柢地域の格子状防風林の管理と絶滅危惧種・生物多様性保全の両立：速水将人（北海道立総合研究機構 林業試験場）		T3-7 森林の3次元データの利用目的とその精度について：高橋興明（森林総合研究所九州支所）
11:00			T1-8 水源林造成事業地における保持林業の取組（事例報告）：山台英太郎（国立研究開発法人森林研究・整備機構）	特用林産	討論・調整
11:15			T1-9 森林整備活動が水源涵養機能に与える影響の簡易評価の試み：齋山峻（八千代エンジニアリング株式会社）	N-1 マツタケ山造成施業後の子実発生—施業6年後の報告—：古川仁（長野県林業総合センター）	T5 森林の放射能
11:30			T1-10 森林の審美的価値に林齢と林相が与える影響：山中聡（森林総合研究所）	N-2 クロモジの生育に適した光環境の検討：高橋輝昌（千葉大学）	ポスター紹介
11:45			討論・調整	討論・調整	
12:00					
12:15					
12:30					
12:45					

研究発表題目（企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表）3月21日午前 2/2

会場	N21 (農学部)	N23 (農学部)	S32 (農学部)	N31 (農学部)	大講堂 (農学部)
開始時刻	S6 生理部門シンポ	造林 1	経営 1	T4 樹木根	林政 1
9:00	S6-1 電子顕微鏡を用いた冬芽の越冬メカニズムの研究：遠藤圭太 (森林総合研究所林木育種センター)	E-1 カラマツコンテナ苗の実用的な育苗密度：二本松裕太 (長野県林業総合センター) ら	D-1 カラマツ類優良苗植栽による気候変動下での収穫量予測：滝谷美香 (道総研林業試験場) ら	T4-1 解剖構造に着目した細根寿命の探求：針葉樹種における原生木部数の季節変化：細井彩 (信州大学大学院) ら	A-1 都道府県による指定管理鳥獣捕獲等事業の現局面：古賀達也 (森林総合研究所) ら
9:15	S6-2 春にブドウの冬芽はどのように耐寒性を失うのか：春日純 (帯広畜産大学)	E-2 人工光と自然光のハイブリッド型苗木生産システムによるカラマツ苗木の育成：下山真人 (株式会社大林組) ら	D-2 NFIデータに基づく全国スケールの森林成長予測：辰巳晋一 (京都大学) ら	T4-2 アジア3地域の森林における樹木の吸水深度特性：勝浦柊 (名古屋大学大学院) ら	A-2 文化的FESのビジネス化 - レンタルフォレスト利用者の実態など：柴田晋吾 (東北農林専門職大学院) ら
9:30	S6-3 亜高山帯で生きる常緑針葉樹の越冬戦略：種子田春彦 (東京大学) ら	E-3 シカ高密度生息域で忌避剤散布による食害防止対策を実施した事例：柴田寛 (鳥取県林業試験場)	D-3 炭素固定量予測式の妥当性の検証 - 海外活動のカーボンオフセットのために：菅沼秀樹 (東北農林専門職大学院) ら	T4-3 椎樹の根圏炭素消費を規定する要因は何か？：温室苗木実験で分かったこと：寺井水明 (東京農業大学) ら	A-3 Current Utilization of Geographical Indications Wild Fungi Industry in Yunnan, China: A Case Study in Mushrooms：李欣陽 (東京大学) ら
9:45		討論・調整	D-4 スギ・ヒノキ人工林の再造林を対象としたカーボンクレジット評価手法の検討：佐藤惟生 (東京農工大学) ら	討論・調整	A-4 千葉県草川原用水の維持管理の変遷：川上健 (東京大学) ら
10:00		教育 1	D-5 Sensitivity analysis of a growth simulation model for Dipterocarp plantation in Malaysia：マンダルモハマドシャミムハサン (国際農林水産業研究センター) ら	T4-4 Influence of masting on resource dynamics in fine roots of <i>Fagus crenata</i> individuals identified using molecular markers：韓慶民 (国立研究開発法人森林研究・整備機構)	A-5 阿蘇における牧野組合の動向 - 牧野組合現況調査を中心として -：八巻一成 (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら
10:15		C-1 ケニア社会林業プロジェクトの歩みと教育効果の検証：中山敏之 (岡山理科大学) ら	討論・調整	T4-5 スキャナー法によるモウソウクチク林の根系動態の解析と撮影地点数の影響評価：遠藤いず貴 (兵庫県立大学)	討論・調整
10:30		C-2 ドイツにおける森林認識の変化：寺下太郎 (愛媛大学)	D-6 2時期の航空レーザ計測から作成したDCHMの差分による樹高成長量評価：大矢信次郎 (長野県林業総合センター)	T4-6 植栽後6年のクロマツコンテナ苗の根系とその強度：藤田早紀 (森林総合研究所)	A-6 長期滞在型観光の拡大の可能性：屋久島における長期滞在客の特性に着目して：柴崎茂光 (東京大学) ら
10:45		C-3 世界遺産の森を守り活かすための多面的な教育アプローチ：大島順子 (国立大学法人 琉球大学) ら	D-7 地位指数モデル開発における過去空中写真DSM利用の効果：光田靖 (宮崎大学)	討論・調整	A-7 林学における「樹芸」概念の特徴と変遷：齋藤敏生 (東京大学)
11:00		討論・調整	D-8 新潟県における航空レーザ計測データを用いた地位指数曲線作成の試み：村上拓彦 (新潟大学) ら	T4-7 ヒノキ人工林内に生育するヤブムラサキの水平根引き抜き試験：橋隆一 (東京農業大学) ら	A-8 ボランティア団体が行う半自然草原の保全に向けたニホンジカ被害対策：小山泰弘 (長野県林業総合センター) ら
11:15		C-4 日本全国における森のようちえんの活動環境の把握：島村琉太 (東京農工大学) ら	D-9 広域スケールにおける森林指標を考慮した流域環境の評価：北野陽大 (京都府立大学大学院) ら	T4-8 幹周囲の根がもたらす土壌崩壊防止力の樹種間の比較：藤井杏佳 (兵庫県立大学) ら	A-9 住民が森林に求める機能の重みづけ-AHP法を活用して -：垂水亜紀 (国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所四国支所) ら
11:30		C-5 幼児キャンプでの樹木と子どものかかわり：遠藤知里 (常葉大学短期大学部)	D-10 森林域と水域の統合的解析を志向した衛星ライダーデータからの浅水深度推定：名倉篤徳 (千葉大学) ら	T4-9 コナラ萌芽再生個体の土壌補強強度は、伐採後何年まで減少するのか？：藤堂千景 (兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター)	A-10 岩手県久慈地方におけるアカマツ林の施業と植物の多様性：古市智紀 (京都大学大学院) ら
11:45		討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整
12:00	学会企画 1				
12:15	ランチョンミーティング「選択的夫婦別姓制度の必要性を考える」				
12:30	※12:00開始				
12:45					

研究発表題目 (企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表) 3月21日午後 1/2

会場	W109 (総合研究棟)	S12 (農学部)	N11 (農学部)	N13 (農学部)	S22 (農学部)
開始時刻	ポスター発表の質疑応答 (対面会場)				
13:00					
13:15					
13:30					
13:45					
14:00	S7 大気森林生理生態	S2 ハイバイ供給拡大	S1 保持林業	T2 森林の保健休養	T6 ネットゼロ森林
14:15	S7-1 常緑針葉樹のシュートおよび針葉レベルの光合成から針葉の長寿命を考える: 北尾光俊 (森林総合研究所) ら	S2-1 木質バイオマス供給の現状と課題: 久保山裕史 (国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所)	S1-1 保持林業実証実験が北海道有林で実施された経緯について: 土屋慎治 (北海道立北の森づくり専門学院)	T2-1 高齢者による風景の注意回復評価: 尾崎勝彦 (びわこリハビリテーション専門職大学) ら	T6-1 高分解能炭素シミュレータを用いた森林伐採シナリオによる森林の変化推定: 小南裕志 (森林総合研究所) ら
14:30	S7-2 スギとヒノキの異なる樹冠位置における針葉の光合成窒素利用特性: 渡辺誠 (東京農工大学) ら	S2-2 早成樹によるバイオマス生産時の炭素負債問題: 相川高信 (PwCコンサルティング合同会社)	S1-2 保持林業実証実験の概要と主要な結果: 尾崎研一 (森林総合研究所)	T2-2 アカエソマツ精油エマルジョンの温泉施設における抗菌消臭効果: 高見菜月 (酪農学園大学) ら	T6-2 日本の森林の二酸化炭素吸収機能の評価に向けた地理空間情報の活用: 平田晶子 (森林総合研究所) ら
14:45	S7-3 光量と葉のガス交換能力の樹冠内鉛直分布がスギのオゾン吸収量に与える影響: 田中亮志 (東京農工大学) ら	S2-3 早生樹林業のためのキリの成長および材質の評価: 石栗太 (宇都宮大学) ら	S1-3 保持林業実証実験で残された樹木の動態: 明石信廣 (北海道立総合研究機構) ら	T2-3 子どもに対する森林散策の効果に関する研究: 狩谷明美 (大阪歯科大学) ら	T6-3 グローバルな森林炭素収支の推定について: 伊藤昭彦 (東京大学) ら
15:00	S7-4 野外長期オゾン暴露環境におけるヤマナラシ属2種の成長とBVOC放出: 増井昇 (静岡県立大学) ら	S2-4 千葉県におけるNEDO早生樹事業でのユーカリ等造林の成果と課題: 富山啓介 (岩手大学) ら	S1-4 保持林業の機会費用を最小にする保持木配置の評価: 津田高明 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構) ら	T2-4 地域の森林を活用した社会福祉施設への活動による「森福連携」の事例: 上原蔵 (東京農業大学)	T6-4 高解像度衛星画像を使ったスギ花粉の発生源および発生量推定システムの開発: 中村裕幸 (株式会社woodinfo)
15:15	S7-5 FACE実験から推察した高CO2環境での森林のメタン消費機能の維持: 小池孝良 (北海道大学)	S2-5 ヤナギ超短伐期施業による木質バイオマス生産に向けた研究開発の現状と課題: 高橋正義 (森林総合研究所) ら	S1-5 保持林業を現場で請け負って: 高篠和憲 (堀川林業株式会社) ら	討論・調整	討論・調整
15:30	S7-6 樹木の放射吸収特性の違いが気候安定化に寄与する可能性: 久米篤 (九州大学) ら	S2-6 NEDO「エネルギーの森事業」の概要と課題: 矢野貴久 (国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)	S1-6 北海道社有林で保持林業を实践して: 高森淳 (三井物産フォレスト株式会社)		T6-5 全国の地上部バイオマス推定に向けた成長モデルの検討: 北原文章 (森林総合研究所) ら
15:45	S7-7 太陽光誘発クロロフィル蛍光による生態系光合成の観測とモデル化: 加藤知道 (北海道大学)	S2-7 九州におけるFIT制度下での木質バイオマス発電への燃料供給: 佐藤政宗 (株式会社森のエネルギー研究所)	S1-7 九州・四国での保持林業: 保持木の種組成とサイズから可能性と課題を考える: 山川博美 (森林総合研究所九州支所) ら		T6-6 フラックスタワー下のヒノキ林における積み上げ法による炭素収支の推定: 佐藤薫 (京大) ら
16:00		S2-8 高知県および四国地域における木質バイオマス利用と供給の現状と課題: 鈴木保志 (高知大学)	S1-8 日本における保持林業の今後の展開に向けて: 山浦悠一 (森林総合研究所)		T6-7 森林管理シミュレーターを用いた枯死木・リター・土壌炭素量の予測手法構築: 酒井寿夫 (国立研究開発法人森林研究・整備機構) ら
16:15					討論・調整
16:30					T6-8 民有林における伐採傾向と地理・社会的要因の関係性に関する分析: 山田祐亮 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら
16:45					T6-9 日本の森林吸収源対策のロジックの整理: 江原誠 (国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所) ら
17:00					T6-10 伐採木材製品の炭素貯蔵量推計に向けた建築物の寿命関数と半減期の推定: 三條瑠都子 (東京農工大学大学院) ら
17:15				学会企画3	T6-11 木材フローと素材生産量に基づくHWPの炭素貯蔵量の推計: 森井拓哉 (森林総合研究所) ら
17:30				JFRのData Noteに投稿しよう!	T6-12 林分と伐採木材製品の蓄積変化および代替効果を考慮した炭素吸排出量評価: 岡裕泰 (森林総合研究所)
17:45					討論・調整
18:00					
18:15					
18:30					
18:45					

研究発表題目（企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表）3月21日午後 2/2

会場	N21 (農学部)	N23 (農学部)	S32 (農学部)	N31 (農学部)	大講堂 (農学部)
開始時間					
13:00					
13:15	ポスター発表の質疑応答				
13:30	(対面会場)				
13:45					
14:00	T5 森林の放射能	S5 森林サービス産業	経営 2		林政 2
14:15	T5-1 森林源流域からの溶存態 Cs-137流出と斜面地下水の影響；加藤弘亮 (筑波大学) ら	S5-1 森林サービス産業の事業経営における現状と課題；矢島万理 (公益社団法人 国土緑化推進機構)	D-11 目視判読によって伐採リファレンスデータはどの程度ばらつくのか？；志水克人 (森林総合研究所) ら		A-11 森林と人々の隔たりの要因を探る；都市部と山村部でのアンケート結果の比較；高橋卓也 (滋賀県立大学) ら
14:30	T5-2 森林源流域において落葉除去が水質及び ¹³⁷ Cs流出に及ぼす影響；永田祐太郎 (筑波大学) ら	S5-2 森林訪問を促す地理情報提供の重要性；松浦俊也 (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所)	D-12 海岸防災林における YOLOv5によるマツ枯れ被害木の検出；小林裕之 (富山県農林水産総合技術センター 森林研究所) ら		A-12 移住者の人的ネットワーク形成に定住者が果たす役割；北海道下川町の事例；黒田峻平 (北海道大学大学院)
14:45	T5-3 森林から渓流生態系への枯死葉を介した放射性セシウムの移行解明；金指努 (福島大学) ら	S5-3 森林での体験活動と森林教育との関わり；井上真理子 (森林総合研究所) ら	D-13 高分解能衛星データを用いた松枯れ被害木の把握；小澤和浩 (精密林業計測株式会社) ら		A-13 退耕還林工程開始から20年間の自然環境と住民生活の変化；菊池真純 (東京大学) ら
15:00	討論・調整	S5-4 森林の訪問利用に関する制度的課題；平原俊 (東京農工大学大学院)	D-14 時系列航空およびUAV写真を用いた森林限界における植生変化抽出；米康充 (島根大学) ら		A-14 山村への移住及び定着に至る過程—東京都檜原村を事例として—；伊藤千尋 (東京大学) ら
15:15	T5-4 スギ林土壌中Cs-137空間的不均一性に対する選択流寄与と土壌理化学的影響；三嶋駿介 (筑波大学) ら		討論・調整		討論・調整
15:30	T5-5 スギとコナラの樹幹流による鉱質土壌中の可給態放射性セシウムの鉛直分布；今村直広 (森林総合研究所) ら		D-15 間伐強度が異なるスギ人工林におけるマルチGNSSの位置精度検証；高岸且 (株式会社パスコ) ら		A-15 2020年国勢調査を用いた世帯主・配偶者が林業に就業する世帯の分析；林宇一 (宇都宮大学) ら
15:45	T5-6 畑跡地と二次林のコナラによる放射性セシウム吸収と細根；三浦寛 (森林総合研究所) ら		D-16 樹木位置同定手法の提案；伊高静 (東京理科大学) ら		A-16 林業労働者の退職理由についての考察；小菅良豪 (にちなん 中国山地林業アカデミー)
16:00	T5-7 共生する菌根菌がコナラ実生の放射性セシウム吸収に与える影響；小河澄香 (森林総合研究所) ら		D-17 異なる立木幹利用材積推定方法の精度検証；殷曉 (精密林業計測株式会社) ら		A-17 林業関連指標に基づき市町村類型と自伐型林業支援策との関係；多田忠義 (農林水産省) ら
16:15	討論・調整		D-18 バックバック型LiDARとULSを用いた地形測量における下層植生の影響；諸橋佑星 (京都大学大学院) ら		A-18 森林の生態系サービスに対する支払いの展開—ドイツの実情—；堀端川 (東北農林専門職大学)
16:30	T5-8 植栽およびカリウム施肥開始から10年を経過したヒノキのセシウム137濃度；小松雅史 (国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所) ら		討論・調整		討論・調整
16:45	T5-9 高線量地域を含む森林ための森林資源利用システムの開発と実証；小川秀樹 (福島県林業研究センター) ら		D-19 3次元レーザを用いた倒木による微気象への影響評価；畠田明花 (千葉大学) ら	学会企画 2	A-19 意思決定支援技術を自治体に届ける—研究成果の橋渡しに向けた試行錯誤—；鷹尾元 (森林総合研究所) ら
17:00	T5-10 野生山菜の利用による内部および外部被ばく線量の推定；渡邊未来 (国立環境研究所) ら		D-20 3次元点群によるスギ根曲がり形状の評価；平岡裕一郎 (静岡県立農林環境専門職大学) ら		A-20 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業の課題と展望—栃木県の事例より—；山本美穂 (宇都宮大学) ら
17:15	T5-11 福島県双葉郡の自然環境に対する住民の意向；藤野正也 (福島大学) ら		D-21 ドローンレーザを用いた機械学習による森林内ササ分布の把握；菊地未由 (千葉大学大学院) ら	国際交流会	A-21 森林管理業務の担当者が持つ知識に対する認識；石崎涼子 (森林総合研究所) ら
17:30	討論・調整		討論・調整		A-22 北海道十勝川流域における造林補助金の選択と活用；尾分達也 (北海道大学) ら
17:45					討論・調整
18:00					
18:15					
18:30					
18:45					

研究発表題目（企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表）3月22日午前 1/2

会場	W109 (総合研究棟)	S11 (農学部)	S12 (農学部)	N11 (農学部)	N13 (農学部)	S21 (農学部)	S22 (農学部)
開始時刻	植物生態	風致・観光1	教育2	造林2	立地1	防災・水文1	動物・昆虫1
9:00	H-1 タイ熱帯季節林に共存するタケ類2種の形態的な山火事耐性形質：齋藤智之（森林総合研究所）	B-1 Integrated Assessment of Protected Areas in Myanmar after COVID-19 and 3-year political conflict：NyeinChan (Kyoto University of Advanced Science) へ	C-6 地域固有の生物に着目した教育から森林環境教育の展開への課題：杉浦克明（日本大学）	E-4 富山県におけるコウヨウゼン植栽木の初期成長：田和佑脩（富山県農林水産総合技術センター）	I-1 スギ人工林における皆伐初期の硝化・脱窒機能遺伝子からみた窒素動態：藤村光希（京都大学）	J-1 流域内の流木生産量と流路内滞留特性を考慮した流木動態評価：中島啓太（名古屋大学大学院）	L-1 白山における自動撮影カメラによるニホンジカの侵入状況調査2024年：近藤崇（石川県白山自然保護センター）
9:15	H-2 表層崩壊後のレガシー活用緑化における植生回復の決定要因の解明：重野真修（北海道大学）	B-2 COVID-19流行下における自然環境への訪問頻度の変化：SLEPT Study：森田えみ（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所）	C-7 「みえ森林ワークブック」を活用した小学校6年生における森林環境育の実践：服部真一（三重県松阪市立徳和小学校）	E-5 スギ及びコウヨウゼン植栽地におけるウサギ食害：赤井広野（鳥取県）	I-2 気象条件の異なるヒノキ林における窒素と水資源の相対的重要性：植垣善之（森林総合研究所）	J-2 流木の流下、堆積過程の数値シミュレーション：鈴木拓郎（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所）	L-2 斜面崩壊後の木柵工と防風柵の設置が哺乳類利用頻度へ与える影響：高橋奈々（北海道大学）
9:30	H-3 鳥取県におけるナラ枯れ跡地の植生状況：三浦功次（鳥取県林業試験場）	B-3 富士山吉田ルートの安全登山対策の評価：関係者の聞き取り調査から：福島雅之（北海道大学）	C-8 多摩森林科学園におけるきのこ園鑑賞企画の試み：長谷川絵里（多摩森林科学園）	E-6 スギ第二世代精英樹候補木および第一世代精英樹のコンテナ苗の成長：藤本浩平（高知県立森林技術センター）	I-3 Assessing Nitrate Dynamics and Environmental Drivers in Mountain Streams of Kyushu Main Island：MaungNay Lin (Kyoto University) へ	J-3 室内実験による植生密度の違いを考慮した斜面崩壊と土砂流動性評価：五味高志（名古屋大学）	L-3 ニホンジカ不嗜好性植物の成り分け分析：古澤優佳（東北農林専門職大学）
9:45	討論・調整	討論・調整	C-9 佐渡島におけるサイエンスカフェの取り組み：崎尾均（新潟大学）	討論・調整	I-4 花崗岩からなる森林流域における約25年間の渓流水質の変化：岸本光樹（東京大学）	討論・調整	討論・調整
10:00	H-4 北アルプス立山における温暖化と森林帯の上昇：石田仁（富山県農林水産総合技術センター 森林研究所）	B-4 国立公園における協力金の支払いを促進する要因について：愛甲哲也（北海道大学）	C-10 森林内音楽演奏の聴取方法による認識の差異：現地とオンラインの比較検討：中村和彦（東京大学）	E-7 スギ樹幹断析による系統別樹高成長と環境要因に基づく樹高成長モデルの対比：福井遼（佐賀県林業試験場）	I-5 落葉広葉樹二次林における樹幹断析と林内雨の水質：山下多聞（鳥根大学）	J-4 2024年能登半島地震による斜面災害の特徴と9月豪雨による土砂流出：柳井清治（石川県立大学）	L-4 奈良県におけるブナ科樹種の豊凶とツキノワグマの秋季の出没（第2報）：青山祐輔（奈良県）
10:15	H-5 Effect of El Niño drought on seedling dynamics in a seasonally dry tropical forest in Northern Thailand：NUTIPRAPUNPRAPAWADEE (The University of Tokyo) へ	B-5 北アルプス・太郎山～北ノ俣岳間の地形と人為的攪乱について：大宮徹（NPO法人 富山県自然保護協会）	討論・調整	E-8 過去の土地利用がスギ人工林の樹高成長に与える影響：福井翔宇（株式会社バスコ）	討論・調整	J-5 能登半島北部における令和6年能登半島地震による亀裂発生箇所の研究：滝澤みちる（株式会社バスコ）	L-5 藪歯類による分散型野食は森林火災後の植生回復に貢献するか？：大河龍之介（京都大学）
10:30	H-6 亜高山帯林における地表土とマウンド・倒木上との実生バンク成立状況の違い：杉田久志（元森林総合研究所）	B-6 世界自然遺産小笠原諸島における複数の観光ガイド制度の変遷とその関係：武正憲（東洋大学）	C-11 中学校の総合的な学習の時間における地域資源を活かした自然体験活動：山田亮（北海道教育大学若見沢校）	E-9 農地跡地での植栽木の成長と土壌の関係：園田菜央（鳥取県林業試験場）	I-6 落葉広葉樹二次林におけるリターフォールによる重金属類の還元：入江美紗（鳥根大学）	J-6 能登半島地震による北部地域の山地災害を対象とした広域判断調査報告：鈴木康（株式会社バスコ）	L-6 ツキノワグマによるガンコウランの垂直種子散布：酸素安定同位体による推定：高橋一秋（長野大学）
10:45	討論・調整	討論・調整	C-12 中学校の総合学習におけるシカ捕獲の取扱い：柳澤賢一（長野県林業総合センター）	討論・調整	I-7 三瓶演習林の16年生スギ人工林地上部における金属元素蓄積：穴澤颯馬（鳥根大学）	討論・調整	討論・調整
11:00	H-7 ミズナラが豊作に至る途は1つではない：19年間の種子トラップデータの解析：正木隆（国立研究開発法人森林研究・整備機構）	B-7 緑地景観の主観的認識と客観的指標との関連性：梅澤弘一（早稲田大学）	C-13 学生を対象とした砂防えん堤モデル実験の授業実践：浅井能在（上越教育大学）	E-10 低コスト再造林プロジェクト紹介：田中賢治（国土防災技術株式会社）	I-8 暖温帯林小流域におけるCO ₂ 交換量に対する河川経由炭素流出量の割合：高木正博（宮崎大学）	J-7 気候変動が斜面崩壊発生危険度降雨に及ぼす影響：経隆悠（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所）	L-7 沖縄島におけるソテシロカイガラムシの被害実態とその薬剤防除：辻本信志（一般財団法人沖縄美ら島財団）
11:15	H-8 秋田県内におけるブナの堅果生産の地域間差：木村恵（秋田県立大学）	B-8 Socioeconomic Inequalities in Urban Forest Accessibility: A Comparative Study in Metropolitan Cities in Japan：方清平（Kobe University）	C-14 学食からはじめる脱プラスチック竹箸プロジェクト：榎浦正子（京都大学）	E-11 グイマツ雑種F ₁ 低密度植栽実証林の植栽後20年間の生株と成長：中川昌彦（北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場）	I-9 Linking fine root traits to belowground carbon dynamics in middle-aged plantations of four tree species：林承源（Kangwon National University）	J-8 Response of overland flow, soil and litter erosion to thinning in a Japanese cypress plantation：フアラナクモイン（東京大学）	L-8 チョウセンゴヨウにおける樹幹注入農薬の残留とリスク評価：金俊憲（国立山形科学館）
11:30	H-9 カヤの平ブナ成熟林における葉群の水平・垂直分布の5年間の変化：植田時（筑波大学）	B-9 Analysis of People's Perceptions of Urban Green Spaces and Their Environmental and Socioeconomic Factors：胡宇軒（神戸大学）	C-15 林業×ボドゲ×甲子園：遊びと競争で深める新たな林業教育プログラムの実践：狩野和也（飛騨五木株式会社）	E-12 デゾレートAZ粒剤のドローン散布による除草効果：山田勝也（群馬県林業試験場）	I-10 Can two abandoned Phyllostachys stands be carbon source?: 韓韓虎（九州大学）	J-9 山地流域における豪雨時の流出応答を長期観測データから評価する：浅野友子（東京大学）	L-9 低コスト樹幹注入法による小径木への樹幹注入の施工結果：小倉晃（石川県農林総合研究センター 林業試験場）
11:45	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整
12:00	ポスター発表の質疑応答（対面会場） （高校生ポスター：12:00-14:00） （一般ポスター：13:00-14:00）						
12:15							
12:30							
12:45							

研究発表題目（企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表）3月22日午前 2/2

会場	N21 (農学部)	N23 (農学部)	S31 (農学部)	S32 (農学部)	N31 (農学部)	大講堂 (農学部)	小講堂 (学術交流会館)
開始時刻	生理	遺伝・育種 1	経営 3	微生物 1		林政 3	
9:00	G-1 スキャナー法と深層学習を用いた細根フェノロジー解析システム：成果と課題：森健介（兵庫県立大学）ら	F-1 スギミニチュア採種園におけるクローン毎の着花及び種子の特性：中島剛（青森県産業技術センター・林業研究所）ら	D-22 UAVと航空機レーザ計測による樹種判別～特徴量抽出改善と外部検証～：星川健史（静岡県立農林環境専門職大学）ら	M-1 ポプラ-ウラムラサキ間におけるクロスキングダムsRNAの探索：岡部信（東京大学大学院）ら		A-23 市町村森林ビジョンの策定プロセスと施策内容に関する実態分析：古川大輔（東京大学大学院）ら	
9:15	G-2 山岳域において樹木の葉と根の非構造性炭水化合物の季節変化は連動するの？：橋本裕生（信州大学）ら	F-2 スギ採種園におけるカメムシ類の季節変動と加害が発芽率に及ぼす影響：中川湧太（兵庫県立農林水産技術総合センター）ら	D-23 Tree component classification using UAV LiDAR-derived point cloud and Attention-PointNet++ deep learning：胡楠（東京大学）ら	M-2 ゴブラにおける外生菌根形成を制御するmicroRNA319aの分子機構の解明：鎌倉蘭（東京大学）ら		A-24 北海道民有林における森林資源管理制度の実情と課題：岩田聡（北海道大学）ら	
9:30	G-3 ミズナラ・コナラ苗の木部形成と通水の季節変化：福田健二（東京大学）ら	F-3 小型穂と深型セルトレーを活用したサガンスギの挿し木育苗技術の開発：柴田晴矢（佐賀県林業試験場）ら	D-24 AIとドローンレーザ計測による単木樹種分類及び林相区分図の作成：鄧送求（信州大学）ら	M-3 Characterization of fungal-specific transcription factors in <i>Cenococcum geophilum</i> regulating ectomycorrhizal formation：唐雨滢（東京大学）ら		A-25 森林開発に関わる我が国諸制度の運用実態：木村憲一郎（富士大学）	
9:45	G-4 常緑針葉樹4種における冬季の光化学系タンパク質の変動と光化学系の応答：成田あゆ（北海道立総合研究機構林業試験場）ら	F-4 葉面吸水と高温順化による難発根性スギ挿し木品種の発根促進：江島淳（佐賀県林業試験場）	D-25 UAV画像と機械学習を組み合わせた樹冠抽出及び樹種分類：若月大輝（東京理科大学）ら	討論・調整		A-26 中国南西部都市森林の動的モニタリング：32年間貴陽市における土地被覆変化：BANHOUHENG（神戸大学）	
10:00	討論・調整	F-5 低温貯蔵したヒノキ実生コンテナ苗の植栽後活着率と初期成長：大平峰子（森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター）ら	討論・調整	M-4 菌根から滲出する酵素の活性はアカマツ実生の成長に影響するの？：吉岡隼人（東京農業大学大学院）ら		A-27 台湾と日本における保安林制度の違いとその要因：加藤葉月（筑波大学）ら	
10:15	討論・調整	討論・調整	D-26 深層学習によるUAV画像からの広葉樹の分類-有効な画像解像度の検証-：大原圭太郎（鳥根大学）ら	M-5 日本産マツ属の外生菌根菌土胞子群集の種構成と多様性パターン：阿部寛史（東京大学大学院）ら		討論・調整	
10:30	利用 1	F-6 スギ交配系統の若齢期における成長および材質と優良候補木の選抜：袴田哲司（静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター）ら	D-27 TreeQSMを用いた広葉樹測定精度の検証：山田誠太郎（千葉大学大学院）ら	M-6 屋久島の人工林と天然林のスギ根圏のアンモニア酸化アーキアの群集構造：松田陽介（三重大学大学院）ら		A-28 大規模言語モデルを用いた森林環境課税に関する県議会議事録解析：大森宏（東京大学）ら	
10:45	K-1 山地区分と林道損壊の関係：矢部浩（鳥取県林業試験場）	F-7 日本におけるテラマツ・スラッシュマツの造林可能性を探る：笹田勇麻（東京大学）ら	D-28 UAV-LiDARデータを用いた広葉樹林の林分材積推定：齋藤英樹（森林総合研究所）ら	討論・調整		A-29 経営規模および事業構成別にみた森林組合の収益性に関する検討：松本美香（高知大学）	
11:00	K-2 Automated Long-Term Productivity Analysis of Feller Bunchers in Whole-Tree Harvesting in British Columbia, Canada：LahrsenSteffen (Utsunomiya University) ら	F-8 日本国内のコウヨウザン林分を対象とした成長および材質に関する遺伝的評価：平尾知士（森林総合研究所林木育種センター）ら	D-29 3波長同時計測航空機LiDARデータを用いた広葉樹の樹種間特徴の比較：山口大樹（名古屋大学大学院）ら	M-7 The ecological patterns of the key arbuscular mycorrhizal fungi detected in the roots of <i>Cryptomeria japonica</i> ：DJOTANKKevin（三重大学）ら		A-30 長野県佐久地域カラマツ人工林の主伐・再造林動向-伐採による分析-：岸野奏（東京大学大学院）ら	
11:15	K-3 大分県の皆伐作業における欧州型CTLを導入した作業システムの生産性分析：有賀一広（宇都宮大学）ら	F-9 全国抵抗性・精英樹・野外集団クローンマツ・アカマツの資源横断的核SSR評価：岩泉正和（森林総合研究所林木育種センター関西育種場）ら	討論・調整	M-8 土壌DNAを指標にした日本産黒トリュフ <i>Tuber himalayense</i> 産量方法の確立：山口宗義（国立研究開発法人 森林総合研究所）ら		A-31 林業関係者間の意識共有による持続可能な森林経営への影響に関する考察：石佳凡（早稲田大学）ら	
11:30	K-4 伐木前地帯作業がハーベスタ伐木作業に与える影響：渡辺一郎（地独）北海道立総合研究機構林業試験場）ら	F-10 キタゴヨウ最北限孤立集団の遺伝的動態：中西敦史（国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所）ら		M-9 針葉樹4樹種の根圏に生息する土壌生物群集構造：北上雄大（三重大学）ら		A-32 森林組合による主伐地集約の地域間比較～宮崎県南・東北地域の事例から～：新永智士（宮崎大学大学院）ら	
11:45	討論・調整	討論・調整		討論・調整		討論・調整	
12:00	ポスター発表の質疑応答（対面会場） {高校生ポスター：12:00-14:00} {一般ポスター：13:00-14:00}						
12:15							
12:30							
12:45							

研究発表題目（企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表）3月22日午後 1/2

会場	W109 (総合研究棟)	S11 (農学部)	S12 (農学部)	N11 (農学部)	N13 (農学部)	S21 (農学部)	S22 (農学部)
開始時間							
13:00							
13:15							
13:30	ポスター発表の質疑応答 (対面会場)						
13:45							
14:00	S10 北海道の広葉樹	風致・観光 2	S8 森林教育の発展	造林 3	立地 2	防災・水文 2	動物・昆虫 2
14:15	S10-1 RSデータを用いた広葉樹資源量の把握：針葉樹人工林内の広葉樹を対象に：蝦名益仁（地方独立行政法人北海道立総合研究機構）ら	B-10 東京23区民の森林への関心、訪問に関する調査報告：小田龍聖（森林総合研究所）ら	S8-1 環境倫理学から見た森林、森林から見た環境倫理学：博物学的体験からの考察：太田和彦（南山大学）	E-13 森山麓高原自然再生事業におけるブナ植栽木の成長と植生の再生：沼宮内信之（秋田県林業研究研修センター）ら	I-11 近赤外分光分析による森林土壌の保水性の推定：関口寛人（森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	J-10 数値シミュレーションを用いた岩盤地下水が流出量に与える影響の検証：正岡直也（京都大学）ら	L-10 マツノザイセンチュウと在来近縁種の共存下における個体群動態：池田優月（明治大学）ら
14:30	S10-2 北方広葉樹林における天然更新促進法：石橋聡（森林総合研究所）ら	B-11 森林資源情報を活用した森林園地管理の計画/予測技術の開発：高山範理（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	S8-2 森林活用で創る自然保護モデルと子どもの未来：藤井徳子（金沢学院大学）	E-14 若手県産人工林皆伐跡地における大型草食動物の採食量推定：酒井敦（森林総合研究所東北支所）ら	I-12 地形の異なる丘陵地において火山灰が土壌発達と土壌特性に及ぼす影響：渡壁卓磨（森林総合研究所）ら	J-11 白坂流域内入れ子状小流域の流出特性—実測流量と浸透数値計算による解析—：森貞完太（東京農工大学）ら	L-11 マツノマダラカミキリ放飼により効率よくクロマツに病徴再現するための条件：小澤太（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 東北支所）ら
14:45	S10-3 北海道における広葉樹の付加価値を高める木材特性に着目した育林の可能性：仲谷朗（北海道大学）ら	B-12 里山景観の保全と観光の両立：佐渡金山ユネスコ世界文化遺産登録を事例に：大森結衣（京都大学）ら	S8-3 帯広の森における市民協働の森林づくりと森林教育：日月中（帯広の森・はぐくむ）	E-15 札幌市羊ヶ丘の樹木園に植栽されたカバノキ科樹木の雄花の着花数の年変動：倉本恵生（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）	I-13 森林土壌におけるメタンフラックスデータベース構築に向けた展望：森大喜（森林総合研究所九州支所）ら	J-12 山地森林流域の日米間比較による地質条件と水貯留特性評価：猪越翔大（名古屋大学）ら	L-12 野外出産において寄主丸太に誘引されたマツノマダラカミキリの日齢：江崎功二郎（石川県農林総合研究センター林業試験場）
15:00	S10-4 北海道産広葉樹の材質の一例：大崎久司（北海道立総合研究機構）ら	B-13 Kominka as a driver of Satoyama forest management: Potential citizen-participated research and actions：内山諭太（神戸大学）ら	S8-4 北海道大学研究林を利用したエコツアーの試み：中村誠宏（北海道大学）	E-16 Potentials of Controlled Natural Tree Regeneration (CNR) towards Urban Forest Management in Kampala city, Uganda：キバラママービン（Tokyo University of Agriculture）	I-14 高知県香美地域においてスギ成長に影響する立地要因：細川奈々枝（森林総合研究所四国支所）ら	討論・調整	討論・調整
15:15	S10-5 北海道における未利用広葉樹（シラカバ）の高付加価値利用の取り組み：鳥羽山聡（一般社団法人白樺プロジェクト）	討論・調整	S8-5 アウトドアツーリズムにおける地域資源を活かしたコンテンツ開発：武田丈太郎（北海道教育大学岩見沢校）	討論・調整	討論・調整	J-13 T-DRセンサーを用いた土壌水分特性の野外計測：法利祐香（京都大学大学院）ら	L-13 温帯海岸林におけるタブノキに対するホシベニカミキリの影響とその生態：浅野涼太（白梅学園短期大学）
15:30	S10-6 広葉樹林を「一山いくら」ではなく「一本いくら」の価値で評価する：山下直子（森林総合研究所）	B-14 琉球諸島における御嶽聖域林の植生構造と保全管理の課題：陳碧霞（琉球大学）ら	S8-6 中学校技術科における森林教育の位置づけと現状：佐藤直正（北海道教育大学札幌校）	E-17 南九州の早生樹育林における台風被害事例：櫻井倫（宮崎大学）ら	I-14 加速度計による樹木振動データを用いた樹木への付着水分量推定の試み：南光一樹（国立研究開発法人森林研究・整備機構）ら	J-14 加速度計による樹木振動データを用いた樹木への付着水分量推定の試み：南光一樹（国立研究開発法人森林研究・整備機構）ら	L-14 カシノナガキクイムシの根株から脱出致一甲府盆地の事例—：高柳達志（山梨県森林総合研究所）ら
15:45	S10-7 道産広葉樹の需要開発と高付加価値化：内田敏博（北海道木材産業協同組合連合会）	B-15 現代山村における焼畑の変容：石川泉白山市白峰地域を事例に：上田隆太郎（名古屋大学大学院）ら	S8-7 木育を構成する内容を踏まえた教科横断的な学習の提案：東原貴志（上越教育大学）	E-18 Impacts of Planting Density on Carbon Cycling in Early-stage <i>Larix kaempferi</i> Plantations：宋煥紅（Kangwon National University）ら	J-15 竹林の遮断蒸発はなぜ少ないのか？—付着水分量の推定—：篠原慶規（宮崎大学）ら	J-15 竹林の遮断蒸発はなぜ少ないのか？—付着水分量の推定—：篠原慶規（宮崎大学）ら	L-15 ナラ枯れ被害後の林分における林冠構造の変化：奥山雅隆（東京農工大学）ら
16:00	S10-8 広葉樹の販路拡大を目指した新たなサプライチェーン～北海道日高での検証：酒井明香（北海道立総合研究機構林産試験場）ら	B-16 ガーデンツーリズム施策で活用される森林管理要素：田中伸彦（東海大学）		E-19 列状間伐から15年後のヒノキ人工林における生育状況：宮本和樹（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら		討論・調整	討論・調整
16:15		B-17 国際協力における地域資源の活用 インドネシアのおが粉活用事業を事例に：藍場将司（名古屋大学大学院）ら		E-20 広葉樹が混交した多雪地スギ人工林の20年間の動態：野口麻穂子（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所）ら		J-16 降水安定同位体比の長期変動が示す気候変動のシグナル：勝山正則（京都府立大学大学院）	L-16 コナラの豊凶に6月の気温が影響する？ハイロチョッキリ羽化との関係：平山貴美子（京都府立大学大学院）ら
16:30		討論・調整		討論・調整		J-17 劣化が進行しつつある熱帯乾燥常緑林でのCO ₂ 収支劣化以前とどう変わった？：清水貴範（国研）森林研究・整備機構）ら	L-17 水源林整備としての間伐が森林生態系に及ぼす効果の検証：谷脇徹（神奈川県自然環境保全センター）
16:45				E-21 山形県金山町のスギ人工林における広葉樹稚樹の分布と地形との関係：澤田佳美（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 東北支所）ら		J-18 日本全国の森林乾燥害リスクマッピングにおける土壌厚分布の重要性：岩崎健太（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	L-18 カブトムシ幼虫による落葉広葉樹二次林間伐材チップの分解促進：福田清孝（東京農業大学大学院）ら
17:00				E-22 九州の人工林伐採後の未植栽地に成立した二次林の林分構造の変化（予報）：野宮治人（森林総合研究所）ら		討論・調整	L-19 早期落葉が漸進性害虫に与える影響—もしも早期落葉しなかったら—：大澤正嗣（山梨県森林総合研究所）ら
17:15				E-23 播種起源の40年生ミズナラ林の成長過程：初期の競合抑制効果：吉田俊也（北海道大学）ら			討論・調整
17:30				討論・調整			
17:45							

研究発表題目 (企画シンポジウム・公募セッション・部門別口頭発表) 3月22日午後 2/2

会場	N21 (農学部)	N23 (農学部)	S31 (農学部)	S32 (農学部)	N31 (農学部)	大講堂 (農学部)	小講堂 (学術交流会館)
開始時間							
13:00							
13:15							
13:30	ポスター発表の質疑応答 (対面会場)						
13:45							
14:00	利用 2	遺伝・育種 2	経営 4	微生物 2		林政 4	学会企画 4
14:15	K-5 ヒノキ林において上方伐倒時のかかり木が残存立木間を通過する際の通過仕事:松本武(東京農工大学大学院)ら	F-11 日本の森林形成過程プロジェクトの紹介:津村義彦(筑波大学)	D-30 ドローンレーザーを用いた森林内空間情報取得技術:加藤頌(千葉大学)ら	M-10 岩手県奥州市のアカマツ1林分におけるマツ材線虫病の局地的自然終息:中村克典(国研) 森林研究整備機構森林総合研究所)		A-33 北海道における造林作業の工程および労働力の現状:唐澤友輔(北海道大学)ら	
14:30	K-6 持続可能な森林経営の視点から見た中間土場の配置最適化に関する研究:尤陽宇(東京大学)	F-12 気候変動がもたらす生態学的機会:ニューカレドニア産 <i>Oxera</i> 属の適応放散:坂野慧悟(京都大学)ら	D-31 深層学習を用いた森林の3次元構造と音響指数との関係:安藤隆良(千葉大学)ら	M-11 寒冷地域のマツ枯死木からマツノサイセンチュウを効率的に検出するには?:相川拓也(森林総合研究所)ら		A-34 北海道における自伐型林業の経営実態:江川智也(北海道大学大学院)ら	高校生ポスター表彰式
14:45	K-7 森林計画区における中小規模木質バイオマス発電所の最適配置に関する研究:王雄恒(東京大学)ら	F-13 ブナの遺伝的多様性、集団構造およびデモグラフィの歴史:頼承筠(名古屋大学)ら	D-32 ドローンレーザーを用いた森林構造と種多様性の関係:吉原知世(千葉大学)ら	M-12 コンテナ苗で発生したスギ赤枯病の病徴と発生地での防除事例:陶山大志(島根県中山間地域研究センター)ら		A-35 南九州における造林と生産の事業変化~宮崎県森林組合を例に~:滝沢裕子(鹿児島大学)ら	
15:00	K-8 天然乾燥における間伐材丸太の含水率変化に与える影響要素に関する検討:叶柯嵐(早稲田大学)ら	F-14 日本固有シャクナゲ亜属の系統関係と遺伝構造:玉木一郎(岐阜大学)ら	D-33 森林内間伐作業における時間生産性およびエネルギー生産性向上に向けた検討:曹田拓和(早稲田大学)ら	M-13 拡大造林期に発生していたスギ赤枯病菌の遺伝的多様性:安藤裕朗(森林総合研究所 九州支所)ら	学会企画 5	A-36 ウッドショックが残したものの:嶋瀬拓也(森林総合研究所)	
15:15	K-9 LiDAR技術を活用した広葉樹林のバイオマスエネルギー賦存量推計:武村大介(芝浦工業大学)ら	F-15 日本各地で一斉開花中のタケ類ハチクの遺伝構造:久本洋子(東京大学)ら	D-34 日本におけるスギ・ヒノキの「フェアブライズ」:守口海(信州大学)ら	討論・調整		討論・調整	
15:30	討論・調整	討論・調整	討論・調整	M-14 主要造林樹種から分離された暗色枝枯病菌の再評価:服部友香子(森林総合研究所)ら	日誌の使い方	A-37 地域原木流通における原木市売市場の取引方法:高梨一竹(東京大学)ら	大学ツアー
15:45	K-10 2台のカメラを用いた直交撮影による三次元動作解析手法の開発:小島尚人(東京農工大学)ら	F-16 日本および極東ロシアにおけるカラマツ属の遺伝的変異:渡辺洋一(千葉大学)ら	D-35 スマート林業を用いた大学発スタートアップの山村課題への挑戦:加藤正人(信州大学)ら	M-15 スギ苗木病害の再評価:升発スタートアップの山村課題への挑戦:加藤正人(信州大学)ら		A-38 節産業における広葉樹薪の流通構造と生産状況-熊本県天草市牛深町を対象に:清水浩貴(鹿児島大学)ら	
16:00	K-11 林内3次元物体検出のためのゲームエンジンを用いた教師データ自動生成:中込広幸(国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所)	F-17 スギの雄性不稔 (<i>MS2</i>) 候補遺伝子の同定:上野真義(森林総合研究所)ら	D-36 西川林業地に適した地上レーザ測量システム活用方法の確立に向けた比較検証:藤原寛晃(株式会社大林組)ら	M-16 スギ林における森林環境と樹木病害発生状況との関係:東北地方での一事例:山下聡(森林総合研究所)ら		A-39 日本における広葉樹材に関する輸入需要モデルの推計:オークを中心に:植熊悠宇至(森林総合研究所)ら	
16:15	K-12 グラップルローダによる丸太積載作業自動化手法の開発:伊藤崇之(森林総合研究所)ら	F-18 遺伝子発現から探るスギの耐凍性の種内変異:能勢美峰(国研) 森林総合研究所林木育種センター)ら	D-37 森林管理にクラウドGIS「森の案内人フォーパス」の活用:原佳輝(精密林業計測株式会社)ら	討論・調整		A-40 旧業たばこ産地における1960年代の林野利用の実態と長山家のライフコース:角谷黎(東京農工大学大学院)ら	
16:30	K-13 自動走行フォワードのLiDAR SLAM点群マップから単木を抽出する手法の開発:瀧川瑞己(東京農工大学)ら	F-19 スギ不定胚形成細胞における不定胚成熟と関連した発現遺伝子の探索:鶴田燃海(森林総合研究所)ら	D-38 地方税法第380条第3項例示地図等の調製手法による林地台帳地図修正の検討:和田陽一(朝日航洋株式会社)	M-17 ヒサカキ裂皮掛病(新称)の発生生態と寄生範囲:市原優(国研) 森林機構 森林総合研究所関西支所)ら		討論・調整	
16:45	討論・調整	F-20 スギにおける乾燥ストレス応答性遺伝子発現と発現マーカー遺伝子:永野聡一郎(森林研究・整備機構)ら	D-39 リモートセンシング技術を活用した森林境界明確化-木曾町事例-:丸山拓見(精密林業計測(株))ら	M-18 クマ割き被害木における菌類の検出位置とそれらの病原性、腐朽力との関連:鳥居正人(森林総合研究所)ら		A-41 鹿児島・屋久島の海上輸送施設遺構の林業史的意義:奥山洋一郎(鹿児島大学)ら	
17:00		討論・調整	討論・調整	M-19 ムネアカオアオリから分離される酵母は、「樹液酵母」なのか?:遠藤力也(理化学研究所バイオリソース研究センター)ら	閉会式	A-42 秋田県における近代の国有林経営と地域社会:芳賀和樹(法政大学)	
17:15				討論・調整		A-43 大正期の朝鮮総督府営林廠における事業の改革:竹本太郎(東京農工大学)	
17:30						A-44 アメリカ林業形成過程における複数のルーツの検証:平野悠一郎(森林総合研究所)	
17:45						討論・調整	

ポスター一覧

: 学生ポスター賞の対象

部門	ポスター番号	現地掲示日	講演者氏名	発表題目
林政	PA-1 #	3/21	陳 田	森林管理における公民連携手法の比較：公社造林と国有林分収造林を中心に
	PA-2 #	3/21	平山 和虎	山道の整備・管理に関する研究動向
	PA-3 #	3/21	岩野 純奈	狩猟における自助・共助・公助の再検討：熊本県唐川流域を事例に
	PA-4 #	3/21	Yegil Salgado Mariana	豪雨災害被災地の復興における景観管理の取り組み：熊本県山江町の事例
	PA-5 #	3/21	谷目 葉	公社林経営におけるカーボンクレジットの活用意義－秋田県・長崎県を例に－
	PA-6 #	3/21	陳 月	三瓶山エリアの木材資源を活用したおみやげ商品の開発と最適価格設定
	PA-7 #		酒井 友希乃	森林由来の炭素クレジット制度の実効性－カティンガンを事例にして
	PA-8 #	3/21	富塚 雅之	BtoC企業の森林認証に対する認識－環境報告書のトピックモデルによる分析－
	PA-9 #	3/21	穂園 直紀	ジビエの流通と普及について－鳥取県を事例として－
	PA-10 #	3/21	松田 愛子	東南アジアの熱帯林地域における参加型森林管理が地域住民に与える影響
	PA-11 #	3/21	吉元 舞依子	鳥取県木材産業の労働力問題
	PA-12 #	3/21	平田 楓佳	シイタケ原木流通の課題－鳥取県を中心に－
	PA-13	3/21	大塚 啓太	林業事業者がもつ生態系サービスに関する価値観の把握
	PA-14	3/21	笹田 敬太郎	センサスからみた森林組合による素材生産の伸びと川下側の木材需給との関係
	PA-15	3/21	三ツ井 聡美	森林の多面的機能の発揮に寄与する森林所有者の管理行動の実態
	PA-16	3/21	新倉 早織	養蜂業者による木本性蜜源の利用実態－栃木県の事例より－
	PA-17	3/21	黄 璇	市民科学の視角からみた愛知県市民参加型森づくりの現状と課題
	PA-18	3/22	芳賀 大地	森林管理の責務に対する社会意識
	PA-19	3/22	磯本 健太	鉄道林の持続可能性の検討
	PA-20	3/22	山本 紘輝	キャンプ場・グランピング場の地域貢献の可能性-鳥取県を事例として-
	PA-21	3/22	高畑 義啓	「官報」に見る明治期日本のキノコ中毒事例
	PA-22	3/22	高田 乃倫子	県立森林公園のバリアフリー化・ユニバーサルデザインの維持管理について
	PA-23	3/22	峰尾 恵人	森林化学産業の社会的受容性に関する基礎的考察
	PA-24	3/22	安達 啓介	森林経営の持続性を考慮した木質バイオマス発電のコスト分析
	PA-25		泉 桂子	分収造林事業の現状－滋賀県および徳島県を事例として－
	PA-26		大塚 生美	公有林の経営主体と総有の変化
	PA-27		吉田 開	森林認証ラベル普及のために必要な取組み-Best Worst Scalingによる調査-
	PA-28		宮本 麻子	森林生態系多様性基礎調査でみるスギ人工林の林分構造 - 3 所有形態の比較
	PA-29		大野 朋子	産官協働の森林保全への取り組みと課題 - 近畿地域を例として -
風致・観光	PB-1 #		胡 睿喆	東京における都市林と環境正義：東京23区の分析からの試論
	PB-2	3/21	神宮 翔真	インターネット上の生物投稿写真に見る都市域森林の文化的サービス
	PB-3 #	3/21	島津 凜太郎	緑の基本計画における緑被率把握手法の現況と課題
	PB-4		豆野 皓太	野生動物管理に対する市民の選好：部分プロフィール選択実験の適用
	PB-5 #	3/21	粒来 綾香	札幌市の自然歩道におけるヒグマの出没が登山者の意識・行動に与えた影響
	PB-6 #	3/21	王 嘉鈺	夏季高温による都市緑地のレクリエーション便益の変化：札幌市を事例として
	PB-7 #	3/22	亀崎 萌衣	徳之島における世界自然遺産登録に向けた官民の協議と各種委員会の動向
	PB-8 #		千葉 泰史	Measuring visitors' place attachment and recreational value in Chubu-Sangaku National Park
	PB-9 #	3/22	妹尾 咲絵子	知床五湖における人とヒグマの軋轢緩和のための規制に対する利用者の意識
	PB-10 #	3/22	小山 葉奈	滋賀県比良山麓における信仰を通じた自然資源の利用
	PB-11 #	3/22	古林 まひろ	北海道黒松内町の「生物多様性地域戦略」に関わる取り組みの現状と展望
	PB-12		レスタリ リナドウィ	Agroforestry Farmers Intentions, Perceived Impact of Climate Change and Adaptation Strategies
教育	PC-1 #	3/21	趙 晶	スケッチ学習による森林教育：短期および中期の記憶による評価
	PC-2		倉本 宣	川崎市黒川における里山教育と森林教育
	PC-3 #		島村 悠	児童が描く絵画にみる森林への認識－山村部と都市部の児童の違い－
	PC-4	3/21	森嶋 佳織	ネイチャーゲームの保育動画の開発
	PC-5 #		小川 高広	林業大学校設置の推移から見られる名称の変化
経営	PD-1 #		金子 徹平	福岡県における保安林種別の立地特性および伐採傾向
	PD-2		西園 朋広	日本のスギ林における最適伐期の地理的分布
	PD-3		矢田 豊	モバイルGISアプリの実用度評価
	PD-4	3/21	竹重 龍一	日本全国の天然林試験区における樹冠木データベースの構築
	PD-5		江口 則和	i-Tree EcoとUAV空中写真測量を用いたスギ・ヒノキの貨幣価値評価
	PD-6 #		上岡 洸太	樹高成長データとALSデータによる立地環境別の地位推定
	PD-7	3/21	松本 純	機械学習を用いたスギ地位マップ作成における学習スケールの影響
	PD-8	3/21	吉永 慶治	時系列航空写真からの数値樹冠高モデル (DCHM) による樹高成長曲線の再現
	PD-9		田中 邦宏	隣接する林木の樹頂の位置関係と成長について
	PD-10	3/21	豊田 信行	久万高原町スギ群状択伐林の後継樹成長と隣接エリアとの空間検討 II
	PD-11 #	3/21	小林 紀晴	若齢ヒノキ林における成長動態把握
	PD-12		福本 桂子	霧がアカエゾマツの長期直径成長に与える影響
	PD-13	3/21	小宅 由似	iPad Pro対応アプリForestScannerを用いたDBH測定
	PD-14	3/21	伊藤 尚輝	ネットワーク型RTK-GNSSを用いた造林地における周囲測量の作業時間調査
	PD-15 #		山田 風由音	ALSデータによる森林内路網検出
	PD-16 #	3/21	宮崎 太梓	廉価版ドローンレーザーを用いた森林計測ポテンシャルの評価
	PD-17	3/21	中村 仁駿	平成30年航空レーザ計測データから得られた森林資源データの精度検証
	PD-18	3/21	祖父江 侑紀	Sentinel-2データを用いたスギ・ヒノキ判別におけるパラメータの検討
	PD-19		山本 一清	衛星画像による単木レベル森林計測精度の検討－一次世代小型衛星の利用可能性
	PD-20 #	3/21	相原 直生	個体領域抽出と点群識別を組み合わせたスギ単木樹冠抽出手法の実証
	PD-21		藤井 創一朗	富山県における航空レーザ解析のための汎用胸高直径推定式の作成
	PD-22 #	3/21	李 瀚翰	Reconstructing GEDI AGBD and DBH Models for Japanese Forests: Differentiating Whole-Tree and Canopy
	PD-23 #	3/21	Karthigesu Jayavanan	Individual tree detection in a complex mixed conifer-broadleaf forest using UAV RGB and multispectral imagery
	PD-24 #	3/21	HTOO Kyaw Kyaw	Crown-based allometric models for estimating stem diameter and biomass in Japanese natural forests using UAV-LiDAR
	PD-25 #	3/21	大西 一步	疑似HDR画像を用いたSfMにおける林冠ギャップの点群生成改善手法の開発
	PD-26		中谷 清人	航空レーザデータに基づく森林構造とクワガタ相を指標とした森林評価
	PD-27 #	3/22	内山 心愛	UAV空撮で得られた多時期合成画像を用いた樹種分類
	PD-28		加治佐 剛	ドローンレーザ計測によるツバキ林の抽出

ポスター一覧

: 学生ポスター賞の対象

部門	ポスター番号	現地掲示日	講演者氏名	発表題目
経営	PD-29 #	3/22	福井 喜一	LiDARデータに基づいたアベマキ・コナラ林の再生ポテンシャルの評価
	PD-30		松英 恵吾	足尾荒廃山地における長期時系列空間データによる植生回復評価
	PD-31	3/22	岡野 航太郎	LiDARを用いた構造的多様性定量化：知床における森林タイプ間での比較
	PD-32		前田 佳子	ナラ枯れ被害木検出のための衛星画像による時系列解析
	PD-33 #	3/22	國分 菜美	ipad 3Dスキャンを用いた空間解析による枯死木の現存量の推定
	PD-34 #	3/22	坂東 洋祐	ラジコンヘリLiDARデータを用いたブナ林の樹幹計測
	PD-35 #	3/22	Kankong Piyapon	Monitoring Autumn Phenology of Individual Tree Crowns by Comparing Ground-Based and Remote Sensing Observations
	PD-36	3/22	トゥン ニョ ミイ	Spatial Localization of Broadleaf Species in a Mixed Forest Using UAV Multispectral Imagery and Deep Learning
	PD-37	3/22	小谷 英司	航空レーザ計測による落葉広葉樹林の林分材積推定手法の開発
	PD-38		和田 のどか	地上LiDAR-SLAMにおける材積推定の検討
	PD-39		龍原 哲	樹冠バイオマスを推定するための立木因子の検討
	PD-40		伊尾木 慶子	熱帯林復元事業開始25年後の植栽木の生存率と地上バイオマス貢献度の評価
	PD-41 #	3/22	阪内 琢真	衛星画像バンド値による森林バイオマス推定と学習アルゴリズムの比較検討
	PD-42 #	3/22	陌間 芳野	J-クレジット制度の森林モニタリングにおける航空機LiDARの有用性
	PD-43		太田 徹志	時系列空中写真を用いた森林変化推定
	PD-44 #	3/22	PUNGULANI Moses Michael	Analysis of Forest Cover Change Detection in Central Malawi
	PD-45 #	3/22	Beu McJessey Leon Brian	Assessing Forest Change in Ridge-to-reef Landscape of Solomon Islands using Multi-temporal Satellite Data
	PD-46	3/22	梅木 清	ウルシ樹液採取量時系列のモデリング
	PD-47		桑野 泰光	福岡県における空中写真と現地調査に基づく竹林分布拡大の評価
	PD-48 #	3/22	教重 涼子	日本では過去37年間に於いて広葉樹林の非分断化が発生しているのか？
	PD-49 #		吉澤 佑人	空中写真を用いた深層学習による竹林把握
	PD-50		田中 真哉	過去の空中写真を用いたオルソ写真およびDSMの作成：1991年能登の事例
	PD-51		土井 裕介	流木対策の効果検証と地上LiDARの有用性評価
	PD-52 #		- Kyaw Win	Influence of forest management practices on site quality of Japanese cedar and cypress plantations
	PD-53 #	3/22	坂本 竜哉	異なる森林施業が南二陸町のスギ人工林下層植生に与える影響の比較
	PD-54		溝上 展也	帯状伐採による針広混交林化の可能性
	PD-55		園原 和夏	対馬市上県町における地域性を考慮した森林ゾーニングの検討
	PD-56		高野 翼	森林施業データを活用した作業効率及び生産性の評価
	PD-57	3/22	北川 涼	広葉樹の原木価格を基準にした森林の価値に及ぼす樹種の多様性の影響
	PD-58 #	3/22	宮本 知明	木材サプライチェーンに関する研究
PD-59 #		十島 慎太郎	カンボジアにおけるコミュニティ林業と大規模土地収用の配置要因の分析	
PD-60 #		古田 光樹	ミャンマーの恒久林が有する森林保全効果に政治情勢が及ぼす影響	
造林	PE-1		新田 響平	海岸林におけるクロマツ種子散布量の違いとその要因
	PE-2	3/21	今博計	グルタチオン配合肥料の葉面散布がグリーンラーチの種子発芽に及ぼす影響
	PE-3		富沢 裕子	播種時期の違いとガラス室の使用がスギコンテナ苗の成長に与える影響
	PE-4 #	3/21	向山 恭弘	ウルシコンテナ苗の当年生時施肥量が次年度成長に及ぼす影響
	PE-5 #	3/21	瀬戸 裕里加	多摩地域に自生するクロモジのクローン育苗成の試行
	PE-6	3/21	澤田 祐作	高知県嶺北地域における高標高ウバメガシ人工林の初期成長
	PE-7 #		但井 茜香	広葉樹苗木生産の現状と課題
	PE-8	3/21	飛田 博順	スギコンテナ苗の干害リスクを高める土壌水分の閾値
	PE-9	3/21	塚原 雅美	スギ人工林内に植栽したブナコンテナ苗の成長と育苗条件の影響
	PE-10	3/21	柴崎 一樹	Effectiveness of long rooted container seedlings designed for restoration of tropical dry forest in Kenya
	PE-11	3/21	齋藤 隆実	高標高の造林地で、シカ食害に対する単木保護用具がスギ苗木へおよぼす影響
	PE-12		宇敷 京介	岐阜県内で再造林の初期に出現する植生の分類
	PE-13		八木 貴信	熊本地方における管理不足人工林の森林構造と間伐方法の検討
	PE-14 #	3/21	庄司 風	間伐後の林床の光環境勾配がブナ実生の成長特性に与える影響
	PE-15	3/21	伊藤 哲	スギ幼齢植栽木の期間成長量はいつまでも期首形状比に支配される
	PE-16 #	3/21	稲葉 光飛	スギ幼齢造林木の被圧に対する樹冠発達の可塑性は系統によって異なる
	PE-17	3/21	平田 令子	下刈り省略下での特定母樹スギコンテナ中苗の8年間の成長と競合状態
	PE-18	3/21	安達 直之	下刈りの早期終了がスギの植栽木と競合植生に与える影響
	PE-19	3/21	山岸 極	雑草木との競合状態に基づくスギ幼齢木の被圧樹冠量の推定
	PE-20	3/21	角田 悠生	大雑把な下刈りによって残された雑草木が植栽木の生残と成長へ与える影響
	PE-21	3/21	小林 和也	除草剤による省力化の検討
	PE-22		宮本 尚子	積雪地域における下刈り省力の初期成長における影響
	PE-23 #		初山 智咲	下刈り期間における競合植生の変化がスギ幼齢木の成長に及ぼす影響
	PE-24		渡邊 仁志	育苗時の元肥条件が異なるヒノキ実生コンテナ苗の植栽後7年間の成長経過
	PE-25 #	3/21	坂井 勇紀	モウソウチク林とスギ-ヒノキ混交林における炭素貯留量の比較
	PE-26 #	3/21	亀井 優志	中央アルプス亜高山帯常緑針葉樹林におけるバイオマスの時空間変動
	PE-27 #	3/21	本郷 悠夏	冷温帯天然生林での択伐施業後の蓄積回復要因-植物機能形質に注目して-
	PE-28	3/22	小野田 雄介	スギの幹成長の経年変化の系統間差とその原因
	PE-29 #		小田 功大	長伐期施業に誘導するための直径成長に必要なスギの樹冠量指標の検討と推定
	PE-30	3/22	飯田 玲奈	群馬県高崎市におけるカラマツ及びグリーンラーチの初期成長
	PE-31 #	3/22	江縁 紗耶	ウルシ林の地位指数に影響を及ぼす土壌理化学性
	PE-32	3/22	田中 樹己	新潟県内のブナ二次林における樹高成長曲線の調製
PE-33 #	3/22	菅野 千潤	ブナのマスティングが樹冠構造と光環境・下層木の成長に与える影響	
PE-34	3/22	田中 憲蔵	タイにおける若齢チーク木の高さ方向の心材形成	
PE-35 #		野田 佳希	処理方法の違いによるモウソウチク (<i>Phyllostachys edulis</i>) の成長	
PE-36		原山 尚徳	茨城県における北海道産ヤナギ2種13系統の生育と生理生態特性の比較	
PE-37		磯田 圭哉	早生樹コウヨウザン、センダン、ユリノキ、チャンチンの初期成長と種間比較	
PE-38		藤田 徹	予報 単木保護資材を使用したコウヨウザンの獣害	
PE-39	3/22	香山 雅純	アカメガシワの育成に対する堆肥の成長促進効果	
PE-40 #	3/22	新井 勝利	将来木施業の間伐による林床光環境の変化とその予測モデル	
PE-41 #	3/22	日下 真桜	スギの成長速度の系統間差に影響を及ぼす樹冠内の光環境の評価	
PE-42	3/22	伊藤 幸介	スギ人工林内に植栽されたブナの成長に光環境が及ぼす影響	

ポスター一覧

: 学生ポスター賞の対象

部門	ポスター番号	現地掲示日	講演者氏名	発表題目
造林	PE-43 #	3/22	相川 ゆきえ	異なる光環境がヤブツバキ苗の成長に与える影響
	PE-44	3/22	和泉 柚子葉	旧薪炭ブナ林の豊作後の間伐は実生の定着を促すか？発生から6年間の動態
	PE-45	3/22	原谷 日菜	ミズナラの更新補助作業：かき起こし地における林地残材の利用の可能性
	PE-46		山崎 遥	土壌特性および林相からみたオニグルミの分布状況
	PE-47		岡山 侑子	ホオノキ実生の生育に関する遺伝および環境要因
	PE-48	3/22	石川 菜	モンゴル国トゥブ県における南側斜面に生育する針葉樹の生育地形
	PE-49		岩澤 勝巳	令和元年房総半島台風の影響における天然更新状況
	PE-50		久田 善純	岐阜県東上市の人工林皆伐跡地における天然更新の阻害要因の検討
	PE-51 #		森田 博平	阿武隈山地における放置された広葉樹林の萌芽更新を利用した再生の可能性
	PE-52 #	3/22	鈴木 ひかり	庄内海岸林の立木密度の違いが飛砂捕捉機能に与える影響
	PE-53	3/22	津山 幾太郎	将来の気候を見据えたトドマツ苗の最適な産地を予測する
	PE-54 #	3/22	下田 花怜	ヒバ天然林に対する択伐が上木の成長と天然更新に与える影響
	PE-55		狩野 敏規	作業観察からみた造林林の機械化に向けた現場構築の必要性
	PE-56	3/22	城田 徹夫	モンゴル北東部ヘンティ地方におけるカラマツ-カンパ混交林の林分構造
	PE-57	3/22	壁谷 大介	機械学習に向けた航空レーザー測量データに基づく樹冠高推定方法の検討
	PE-58 #	3/22	真鍋 光生	スギ林内の環境要因が蘗苔類の種組成及び分布に与える影響
	PE-59		太田 敬之	秋田県藤里町の天然スギ林伐採後に成立した林分の構造
	PE-60 #	3/22	赤池 友樹	スギ人工林の帯状伐採16年後における広葉樹の更新状況とその要因
	PE-61		伊東 康人	防鹿柵の開放による広葉樹植栽と植生への影響
	PE-62	3/22	小岩 俊行	岩手県におけるスギ・ヒノキ人工林の広葉樹混交林誘導伐16年後の調査事例
遺伝・育種	PF-1		三上 夏生	近畿地方の里山におけるコナラ集団の遺伝的特性と人為的影響の検討
	PF-2	3/21	南 淳	森林性クローナル低木ヤブコウジの条件的アポミキシスと遺伝的構造
	PF-3 #	3/21	岩木 呂 愛由	一塩基多型を用いたサワラ集団のクローン構造の解明
	PF-4 #	3/21	白谷 紗英	四国・紀伊半島地方における2倍体ダケカンパの詳細な分布域と遺伝的特性
	PF-5 #	3/21	岩瀬 友秀	一塩基多型を用いたアカガシとウラジロガシの遺伝的多様性と集団構造の推定
	PF-6 #	3/21	小沼 佑之介	熱帯アジア有用樹種・ファルカタの遺伝構造と集団動態の解明
	PF-7 #	3/21	中村 峻弥	土壌乾燥ストレスに対するブナ実生の発現変動遺伝子の産地間比較
	PF-8		内山 憲太郎	スギの気候適応遺伝変異と将来気候下での影響予測
	PF-9	3/21	伊藤 優祐	ミズナラ-コナラ交雑帯における標準クローン移動を駆動する進化要因の検証
	PF-10 #		Hapsari Marya Tiara	"Intra-specific variation of wood property in Red Meranti and an attempt to study their genome-wide association"
	PF-11 #	3/21	蔡 昕傑	トドマツにおけるモバイルLiDAR点群データに基づく形態形質のQTLマッピング
	PF-12 #	3/21	Meinata Alnus	Genome-wide association study of leaf and growth traits in teak progeny trial in Ngawi, Indonesia
	PF-13		坪村 美代子	関東育種基本区のスギ精英樹の雄花着花量に基づくゲノムワイド関連解析
	PF-14		加藤 珠理	ツクシヤマザクラの遺伝的特性と栽培品種との関わりについて
	PF-15		ワース ジェームズ	Comparative phylogeography of subalpine forest angiosperms in Japan and implications for conservation
	PF-16	3/21	稲永 路子	全国5ヶ所に設置されたキハダ産地試験地の初期成長および生残
	PF-17	3/21	福田 陽子	アオダモ類における葉緑体DNAおよび倍数性の変異
	PF-18		三嶋 賢太郎	大規模ジェノタイプリングデータを利用したカラマツの血縁管理
	PF-19		河合 慶恵	スギ精英樹の交配家系を用いた成長フェノロジーにおける遺伝率の推定
	PF-20		三浦 真弘	優良個体の選抜のためのテリハボクの成長及び着花・果実特性の調査
	PF-21		花岡 創	種多様性の高い林分における個体レベルのleaf area densityの推定
	PF-22		高島 有哉	マツノザイセンチュウ接種苗の可視・近赤外線における反射スペクトル解析
	PF-23	3/22	丹羽 花恵	マツ材線虫病被害林分から選抜したアカマツの抵抗性および諸形質の変異
	PF-24		那須 仁弥	個体別樹高成長経過からみ東北育種基本区カラマツ第2世代精英樹の比較
	PF-25	3/22	矢野 慶介	多雪地域に植栽したスギ精英樹系統と雪害抵抗性品種間での根元曲がりの比較
	PF-26 #	3/22	小林 翔	雄性不稔遺伝子を二重重合接合でもつ無花粉スギ(aabb)の花粉崩壊過程
	PF-27		山田 浩雄	タヌギ精英樹実生採種園における第4世代選抜までの改良効果の推移
	PF-28	3/22	田口 裕人	愛媛県の開放型ミニチュア採種園における少花粉スギ種子の園外花粉率は？
	PF-29	3/22	加藤 一隆	エゾマツ交配園から採取した種子-種子重と充実率に及ぼす要因について-
	PF-30	3/22	生方 正俊	クリーンラーチ採種園の成長と着果量との関係
	PF-31		松永 孝治	熊本県におけるスギ雄花枯れの袋掛けによる防除事例
	PF-32	3/22	西原 寿明	スギミニチュア採種園で使用するカムシ防護ネットの作成とその効果と課題
	PF-33	3/22	向井 伸生	センダンの難発根性はホルモンの影響か？メチル化の影響か？
	PF-34	3/22	北野 皓大	IoT製品による挿し木の飽差管理システムの構築
	PF-35	3/22	庄司 優太	スギ挿し木苗における付傷処理による発根誘導効果
	PF-36		井城 泰一	肥料を混入させた培地を用いたスギさし木試験
	PF-37		小長谷 賢一	ヒノキにおけるゲノム編集技術の確立
生理	PG-1 #		石原 奏	潜伏芽と伐採時期がクリの萌芽に与える影響
	PG-2 #		Faryzan Qistan	Exploring Leaf-Xylem Connection by Azimuthal Radial Sap Flow Measurement and Branch Manipulation in Fagus crenata
	PG-3		平川 雅文	コナラとシラカシの苗の木部通水の季節変化のMRIによる可視化
	PG-4		東 若菜	九州産スギ2品種の日常的な幹の貯留水利用
	PG-5		橋本 正明	ヒメシャラとブナにおける幹CO ₂ 放出の日変化
	PG-6 #		宮澤 杏摘	様々な樹木における樹皮コンダクタンスと光合成機能の関係
	PG-7		辻 祥子	Response of isoprene emission and the xanthophyll cycle to changes in light intensity
	PG-8		渡辺 陽子	Insect defoliationが広葉樹の木質形成へ与える影響
	PG-9 #		西脇 那月	乾燥ストレスの履歴がヒノキの花成応答に及ぼす影響
	PG-10		西口 満	CRISPR/Cas9法によるスギMSJ遺伝子の変異誘発と雄性不稔化
	PG-11 #	3/21	酒井 省吾	ブナ科常緑樹における萌芽と潜伏芽の関係
	PG-12 #	3/21	早川 朋花	ダケカンパ産地試験林を用いた水利用特性の種内変異
	PG-13	3/21	木佐貫 博光	大台ヶ原正木峠での森林衰退後に防鹿柵内で繁殖したササの樹液流速の推定
	PG-14	3/21	高橋 玄	イヌマキにおけるしおれ点と電解質漏出率の関係
	PG-15 #	3/21	黄文倩	マツ材線虫病感染木における壁孔沈着物とエンボリズム分布の関係性
	PG-16 #	3/21	佐々木 陽依	葉脈と葉肉の支持機能の分担が可能にした薄い葉の進化
	PG-17 #	3/21	中田 拓朗	最も速く正確な光合成能力推定手法は何か？

ポスター一覧

: 学生ポスター賞の対象

部門	ポスター番号	現地掲示日	講演者氏名	発表題目
生理	PG-18 #	3/21	ラハユ レサシリ	Photosynthetic response of the <i>Larix gmelinii</i> var. <i>japonica</i> affected by exogenous glutathione foliar application.
	PG-19 #	3/21	前田 唯真	産地の異なるブナの北海道における成長と光合成特性
	PG-20 #	3/22	坂本 侑香	冷温帯落葉広葉樹の秋季における葉の窒素再吸収と樹種特性
	PG-21 #	3/22	森田 瑞穂	複数樹種における節部輸送速度と節部構造の比較
	PG-22 #	3/22	齋藤 楓華	ウリハダカエデの樹液量および糖度と繁殖状況との関係—3年間の記録—
	PG-23 #	3/22	内山 クリスマス	Effects of stem heating on cambial growth of <i>Cryptomeria japonica</i> in a 50-year-old plantation in southwestern Japan
	PG-24 #	3/22	増本 泰河	低温下に生きている樹木の標高差に対する細根吸水機能と炭素利用の変化
	PG-25 #	3/22	伊原 徳子	スギ産地試験地における冬季と夏季の比較トランスクリプトーム解析
	PG-26 #	3/22	則定 真利子	熱帯造林樹木3種の湛水応答
	PG-27 #	3/22	川勝 菜乃子	根圏低酸素環境での窒素欠乏が熱帯樹木の窒素吸収と成長に及ぼす影響
	PG-28 #	3/22	蛭間 英恵	環境ストレスが <i>Melaleuca cajuputi</i> の根のGABA含量に与える影響
	PG-29 #	3/22	川江 萌々香	熱帯フトモモ科樹木の根の呼吸の適応による根圏低酸素下での高温耐性
植物生態	PH-1 #	3/21	WANG XUANWEN	Using Sentinel-2 to track seasonal changes in leaf area index in a deciduous forest
	PH-2 #	3/21	水野 優輝	気候変動観測衛星GCOM-Cを用いた日本の植物フェノロジーモニタリング
	PH-3 #	3/21	宮沢 良行	ブナが光合成するには八甲田はやや暑い
	PH-4 #	3/21	田邊 智子	幹枝生産に使う炭素はいつの光合成で得たものか：モミ苗の例
	PH-5 #	3/21	倉田 遼大	モンゴル北部に生育するシラカンバにおける炭素安定同位体比の年輪内変動
	PH-6 #	3/21	小林 敬子	カラマツの年輪における炭素安定同位体比の年次変動
	PH-7 #	3/21	酒井 恒介	早生桐のバイオマス成長に伴う炭素固定量と最適土壌条件の検討
	PH-8 #	3/21	李 慶喜	Carbon allocation responses of <i>Quercus variabilis</i> seedlings to extreme summer climate manipulation
	PH-9 #	3/21	梶野 浩史	日本国内の天然老齢林の地上部バイオマスの増減と気候条件、樹種組成の関係
	PH-10 #	3/21	長沢 誠	クマハギがスギ幹からのメタン放出に与える影響
	PH-11 #	3/21	吉村 知也	スギ挿し木における植栽後10年経過時の根系構造
	PH-12 #	3/21	室谷 楓香	ダケカンバ産地試験地における萌芽特性と種子採取地の林分構造
	PH-13 #	3/21	渡邊 和人	標高勾配に沿った環境変化に対するオオカメノキの葉・花形変異
	PH-14 #	3/21	向井 智朗	日本と台湾に遺存的に分布する無道管広葉樹種ヤマグルマの葉形の地理的変異
	PH-15 #	3/22	細川 知暉	京都府久美浜砂丘において発生した林野火災跡地の植生回復状況の把握
	PH-16 #	3/22	前土井 秀典	ナラ枯れ被害が下層木の生育環境に及ぼす影響
	PH-17 #	3/22	笹川 大河	北海道におけるササ-齊開花枯死の実態把握——地上と宇宙の視点から——
	PH-18 #	3/22	松本 涼平	二次林皆伐跡地における実生・萌芽更新動態に環境要因が与える影響
	PH-19 #	3/22	永田 純夢	キイチゴ類が繁茂した大規模雪崩跡地における後生実生のサイズ構造の変化
	PH-20 #	3/22	奥山 颯大	植栽園との比較からみる人工島緑化地における個体群構造の変化
	PH-21 #	3/22	籠谷 泰行	東近江市の開花および未開花ハチク林における稈の発生・生育状況
	PH-22 #	3/22	玉城 聡	浅間山東部のカラマツ天然林における15年間の林部構造の推移
	PH-23 #	3/22	岡田 柚佳	佐渡島のスギ天然生林の動態に及ぼす攪乱イベントの検出
	PH-24 #	3/22	策 勲格爾	暖温帯二次林と冷温帯老齢林における成木と実生群集の機能形質変化
	PH-25 #	3/22	内藤 英理香	シカ柵内の樹木実生群集の推移に地上部と地下部の環境要因が与える影響
	PH-26 #	3/22	高橋 幸歩	中間温帯林における植食動物の排除実験を用いた実生更新の阻害要因の評価
	PH-27 #	3/22	片岡 洋哉	マイマイガによる葉の食害はミスナラ林床の燃えやすさに影響を与えるのか？
	PH-28 #	3/22	永嶋 春輝	ユーカリ属8樹種の葉におけるアレロパシー活性
	PH-29 #		高橋 優希	京都市近郊二次林におけるアラカシの種子生産に対する種子食昆虫の影響
	PH-30 #		長池 卓男	落葉広葉樹二次林における階層別植物組成の経時変化
	PH-31 #		大橋 伸太	アラスカ永久凍土域のクロトウヒにおける肥大成長の長期変動の特徴と要因
	PH-32 #		中村 純大	地震由来の崩壊斜面における初期の植物群落の成立に影響する環境要因の把握
	PH-33 #		大平 充	表層崩壊後の初期植生回復：植物種の定着と土壌条件、侵食強度の空間分布
	PH-34 #		山中 柚季	京都府久美浜砂丘におけるハイネズ群落の立地条件の解明
立地	PI-1	3/21	阿部 真	目視観測に基づくスギの雄花量と林分環境
	PI-2	3/21	梅村 光俊	ササの地上部・地下部器官から抽出した植物ケイ酸体の粒径分布の特徴
	PI-3	3/21	小野 賢二	マングローブ細根の仮比重・真比重-細根生産能を体積として把握する—
	PI-4 #	3/21	加藤 雅悠	周辺環境や樹種の違いが森林への窒素沈着量に与える影響の評価
	PI-5	3/21	川西 あゆみ	施肥が枯死木を介して土壌炭素蓄積に与える影響の解析
	PI-6 #	3/21	小林 凌大	樹木根や菌根菌が土壌中の木質有機物の分解速度に与える影響
	PI-7 #	3/21	佐藤 大地	25年間のスギ林土壌の酸緩衝の変化～伝統林業地秋田と各地スギ林の比較～
	PI-8 #	3/21	塩出 晏弓	大気汚染の影響を受けた森林土壌におけるイオウと土壌鉱物の関係
	PI-9 #	3/21	曹 越	森林小流域における溪流沿い伐採による20年間の溪流水質変動
	PI-10	3/21	邱 滇璋	はげ山跡地における95年生ヒノキ人工林の成長変化
	PI-11	3/22	釣田 竜也	森林土壌の飽水時から風乾状態までの保水性曲線の測定
	PI-12 #	3/22	張 志元	Belowground carbon dynamics along a fire chronosequence in <i>Pinus densiflora</i> forests in Korea
	PI-13 #	3/22	長井 孝祐	里山のスギ林、広葉樹林、モウソウチク林での土壌呼吸量とその成分の違い
	PI-14	3/22	長坂 有	トドマツ人工林の保持林業試験地における伐採前後12年間の窒素流出量変化
	PI-15 #	3/22	中島 大雅	効率性を重視した多点調査と機械学習を用いた森林土壌炭素マップの構築
	PI-16 #	3/22	二村 杏太郎	葉と細根のリター混合が分解過程で溶脱する水溶性成分の動態に与える影響
	PI-17 #	3/22	任 睿	兵庫県南東部における社叢林土壌は優占種によりどのような影響を受けるのか
	PI-18 #	3/22	森村 佳祐	流域内湧水湿地の消長とそれに伴う樹林化プロセスの解明
	PI-19	3/22	徳田 祐介	北関東におけるユーカリの菌根菌感染率への影響要因
	PI-20 #	3/22	持留 匠	樹木幹メタン放出と樹形の関わり
	PI-21 #	3/22	李文昊	Relationship between eucalypt growth and soil physico-chemical properties in northern Kanto
	PI-22		大園 享司	Effect of clearcutting on the diversity of needle litter microfungi
	PI-23		中山 理智	優占樹種の異なる森林における深度方向での土壌細胞外酵素活性の違い
	PI-24		阿部 有希子	温度と水分環境が泥炭土壌の微生物呼吸に与える影響
	PI-25		山下 尚之	決定木と深層学習を用いた森林小集水域からの硫黄流出予測
	PI-26		入江 晃己	航空レーザおよび森林資源情報を用いた地位指数の検討
	PI-27 #		相澤 つかさ	腐植添加による無機質土壌の団粒形成過程
	PI-28		今矢 明宏	土壌中交換性塩基類の機械学習による広域推定

ポスター一覧

: 学生ポスター賞の対象

部門	ポスター番号	現地掲示日	講演者氏名	発表題目
立地	PI-29		山田 毅	林地への岩石粉散布による透水性への影響はあるのか？ 北海道鹿部町の事例
	PI-30		小林 真	マイクロプラスチックが土壌窒素循環に及ぼす影響は温暖化により変化するか
	PI-31 #		諏訪 竜之介	高山帯樹木の細根による栄養塩吸収と渗出物：外生、エリコイド菌根種の比較
防災・水文	PJ-1 #	3/21	佐藤 祐太郎	美々川における河川水位のリモート観測の予備的検討
	PJ-2 #	3/21	Mohd Ghaus Ibtisam	Forest thinning impacts on streamflow recession characteristics in a Japanese conifer headwater catchment
	PJ-3		小杉 賢一朗	降雨流出および斜面崩壊に与える森林植生の影響
	PJ-4 #	3/21	滝口 慶人	狩倉沢流域における降雨流出特性把握のための異なる地質の流域との比較
	PJ-5 #	3/21	本多 真美	地質の異なる3流域におけるタンクモデルによる貯留・流出特性の比較
	PJ-6 #		長張 湧	山地流域の実測データに基づいた流出成分の分離
	PJ-7 #	3/21	鯉江 知樹	複数の堆積岩山地源流域における流出経路の評価：水質分析によるアプローチ
	PJ-8	3/21	瀧澤 英紀	渓流水の酸素安定同位体比を用いた多雪森林域における渓流水の流出特性
	PJ-9		細田 育広	渓流水細菌叢組成変動に基づく竜ノ口山南谷における出水過程の検討
	PJ-10 #	3/21	張 逸哲	The Impact of Forest Types and Topographic Variations on Snow Accumulation: Insights from UAV-LiDAR
	PJ-11	3/21	荒田 洋平	北海道空知川上流の森林流域における融雪出水特性とその要因
	PJ-12	3/21	棚山 寛樹	遮断蒸発と蒸散が流況に及ぼす影響：多雪地域におけるシミュレーション検討
	PJ-13 #	3/21	山岡 祐登	降雨流出プロセスを考慮した山地流域の渓流水温変動特性の評価
	PJ-14 #	3/21	稲岡 諄	電気探査を用いた地表面流域を越える地下水挙動可視化の試み
	PJ-15 #	3/21	岩尾 健司	森林斜面における基岩面上の水みち分布の測定
	PJ-16 #	3/21	鈴木 美香	埼玉県所沢市における異なる林分の水源涵養機能の評価
	PJ-17		澤野 真治	統合型森林管理システムに供するための広域的な水資源評価に関する試み
	PJ-18	3/21	松本 一穂	間伐前後における森林土壌の透水・保水性の変化
	PJ-19	3/21	吉藤 奈津子	林床リター含水比モデルに基づく森林火災発生危険日の推定
	PJ-20	3/21	宮下 彩奈	実験的な間伐による残存木の風荷重変化の計測
	PJ-21		大谷 達也	樹木の配置と根系の形状が樹木個体の引き倒し抗力におよぼす影響
	PJ-22		野口 宏典	盛土に植栽されたクロマツの直根・水平根の量と根返り耐性の関係
	PJ-23	3/21	小堀 光輝	皆伐により集積された未木枝葉の危険性に関する調査
	PJ-24		岡田 康彦	スギ立木の流木捕捉機能に対する間伐の効果を検証する水路実験
	PJ-25 #		長谷川 一起	森林内無流水溪流における流木の運動機構
	PJ-26	3/22	酒井 佑一	人工林施業下における表層崩壊の発生要因の検討
	PJ-27 #	3/22	赤羽 澄香	航空機レーザー計測データを活用した崩壊発生斜面の林分特性の評価
	PJ-28 #	3/22	中村 涼	衛星データを用いた九州南部の植生変化と斜面災害リスクについての検討
	PJ-29	3/22	谷 美規	2024年能登半島地震で発生した土砂災害に植生が与えた影響
	PJ-30 #	3/22	牛尾 樹生	地形特性が土砂動態に与える影響の検討
	PJ-31		岩田 幸泰	森林が土砂生産へ及ぼす影響とその定量的な評価について
	PJ-32 #	3/22	及川 夕摩	焼岳上々堀沢における土砂移動が植生に与える影響
	PJ-33 #	3/22	大和 利成	ヒノキ人工林の高齢化が表面侵食量に及ぼす影響
	PJ-34		延廣 竜彦	岩手県のシラカンバ林における皆伐前後の土砂移動レートの変化
	PJ-35	3/22	小柳 賢太	Plot-scale hydrological and sediment disconnectivity associated with windthrown logs in the Eastern Italian Alps
	PJ-36 #	3/22	前田 悠月	はげ山跡地における植生の回復と斜面土層の生成過程
	PJ-37		岡本 隆	ベトナム北部山岳地の土地利用に基づく治山計画の検討
	PJ-38		今田 省吾	山地溪畔林における土壌間隙水と枝自由水中のトリチウム濃度
	PJ-39 #	3/22	網屋 花葉	全国渓流水酸素・水素安定同位体比の分布の長期変化と気候変動に対する応答
	PJ-40 #	3/22	公文 麟太郎	攪乱発生流域における30年間の硝酸イオン濃度・流量関係の変化
	PJ-41	3/22	井手 淳一郎	崩壊地を含む北方冷温帯林における河川の溶存有機物の構成分子種について
	PJ-42		笠原 玉青	森林河川におけるモウソウチクのリター-破砕とリターからの溶出
	PJ-43		深山 貴文	葉含水率とクズのイブレン放出速度の関係
	PJ-44 #		岡 直輝	温帯ヒノキ林の異なる斜面方位における土壌呼吸特性の評価
	PJ-45	3/22	小坂 泉	冷温帯と暖温帯に植栽されたブナのガス交換の比較
	PJ-46	3/22	小谷 亜由美	常緑落葉混交林内の湧水湿地と大気間のCO ₂ 収支
	PJ-47	3/22	溝口 康子	風速鉛直成分の標準偏差および摩擦速度を用いたフラックスデータの選別
	PJ-48		根津 涼	森林水循環簡易評価に向けた樹冠蒸発散のシステムダイナミクスモデル構築
	PJ-49		久保田 多余子	年輪から復元した蒸散量と長期水文気象データから計算した蒸発散量との比較
	PJ-50 #	3/22	王 昕璿	Calibration of Sap Flow Measurement Using Azimuthal Data in Japanese Cypress
	PJ-51	3/22	佐藤 貴紀	カラマツを対象とした熱消散法と吸引実験による樹液流速の比較
	PJ-52	3/22	飯田 真一	多面的計測によるスギ林分の遮断動態の評価
	PJ-53 #	3/22	河野 智紀	定点連続撮影による降雪イベントごとの遮断率の推定
利用	PK-1		宗岡 寛子	作業道からの排水による斜面のマトリックポテンシャルの変化
	PK-2		和多田 友宏	森林作業道の損壊発生リスクを評価する地図の作成
	PK-3		鈴木 秀典	集材路の作設が土砂流出に与える影響の評価
	PK-4	3/21	山口 智	作業道での簡易排水を用途とする粗粒の非破壊検査による分析
	PK-5 #		長谷川 兼都	ロングリーチハーベスタを用いた伐倒材作業の生産性
	PK-6	3/21	大地 純平	下刈り作業の機械化に向けた研究
	PK-7	3/21	関子 光太郎	短伐期ヤナギ類におけるケーンハーベスター収穫作業の検討
	PK-8	3/21	有水 賢吾	林業機械自律走行における作業道逸脱防止のための経路計画に関する一検討
	PK-9		岩岡 正博	超音波測距センサの移動体からの測距性能
	PK-10	3/22	佐々木 達也	オーガ付き電動クローラ型1輪車用の植栽位置誘導システムの開発
	PK-11		山口 浩和	CLASを用いた電動クローラ型1輪車の車両誘導手法の検討
	PK-12		大塚 大	3次元点群によるヒノキ天然更新林分における立木位置のマッピング
	PK-13		海津 江里	ドローン空撮画像を用いた造林初期のモニタリング手法の検討
	PK-14 #	3/22	高木 幹太	モンゴルにおける欧州型CTLを考慮した枯死木利用可能量推計
	PK-15		杉村 翼	スギ原木の直径成長パターンと強度等級区分の関係
	PK-16	3/22	鶴飼 一博	林業事業者従業員の潜在的ストレスの程度
	PK-17	3/22	松村 哲也	急傾斜林地における環境色彩分布と林業事業者の視認性
	PK-18		猪俣 雄太	林業の労働災害発生率は従業者規模によって異なるか？

ポスター一覧

: 学生ポスター賞の対象

部門	ポスター番号	現地掲示日	講演者氏名	発表題目
利用	PK-19		中田 知沙	森林作業における傷病部位からみた労働災害
動物・昆虫	PL-1 #		安田 和真	森林の消失と断片化はキツツキが果たす生態系機能に影響を与えるか？
	PL-2 #		林 亮太	ヒノキのルートマットがA層の土壌動物群集に与える影響
	PL-3 #		中山 直紀	エタノール注入スギ丸太による養菌性キクイムシの誘引：穿孔孔の分布解析
	PL-4 #		フィアクボルス ガブリエル	Factors influencing the number of mycangium pits in <i>Platypus quercivorus</i> females
	PL-5 #	3/21	吉田 理紗	クマイザサ衰退地点から推定したニホンジカの冬季生息地選択
	PL-6 #	3/21	熊木 順生	ニホンジカによる森林の環境変化が土壌動物群集に与える影響
	PL-7 #	3/21	田中 隆史	ニホンジカが樹木の実生に与える影響とその要因
	PL-8 #	3/21	玉木 麻香	人間活動はシカに非消費型捕食者効果を及ぼすのか—音声実験による評価—
	PL-9 #	3/21	立石 幸輝	松枯れの進行が希少鳥類種子ゴモズの繁殖地選好性に及ぼす影響
	PL-10 #	3/21	岡本 稜平	東京農業大学奥多摩演習林におけるナラ枯れ被害木分布の地理的特徴
	PL-11 #	3/21	徐 碩飛	カシノナガキクイムシの忌避剤としてのヒノキチップの有効範囲と有効期間
	PL-12	3/21	上田 明良	クリハラリスの生息する小島と生息しない対岸の半島の間の昆虫相の比較
	PL-13	3/21	法眼 利幸	和歌山県においてヒノキ皮付丸太に穿孔する昆虫類
	PL-14	3/21	綾部 慈子	森林害虫のハバチ類はボルバキアに感染しているか？
	PL-15	3/21	内田 葉子	カラマツ類に対するマイマイガの摂食選好性—室内実験と造林地での被害例—
	PL-16	3/21	松木 佐和子	文献およびワード検索から見た全国のクスサン発生履歴
	PL-17	3/22	長谷川 喬平	カシノナガキクイムシが越冬可能な標高の調査-山梨県の事例-
	PL-18	3/22	和田 尚之	北海道でのカシノナガキクイムシ越冬可能性-積雪はリスクを高めるか？-
	PL-19	3/22	衣浦 晴生	カシノナガキクイムシ成虫の秋脱出
	PL-20	3/22	松本 剛史	市民参加型で実施できるナラ枯れ被害材の処理にかかるコスト試算
	PL-21	3/22	榎崎 康二	福岡県におけるナラ枯れ（ブナ科樹木萎凋病）の発生状況について
	PL-22	3/22	小林 卓也	北海道南部で採集されたカシノナガキクイムシの集団遺伝構造
	PL-23	3/22	上森 教慈	ヒメシガミキリが致死する熱処理パラメーターの決定
	PL-24	3/22	小西 堯生	ツヤハダゴマダラカミキリは産卵意思決定において社会的情報を利用する
	PL-25	3/22	武原 菜々花	クロマツ樹上におけるマツヘリカメムシ幼虫の共生細菌獲得
	PL-26	3/22	渡辺 敦史	マツノザイセンチュウはどの程度の気温まで耐性を持つのか？
	PL-27	3/22	林 耕太	亜高山帯針葉樹林でのニホンジカの剥皮の進行
	PL-28	3/22	中森 さつき	航空レーザ測量データを用いた下層植生衰退地点の検出
	PL-29		井内 正直	揺れ検知IoTを用いたイノシシ・シカ等による集落防護への接触状況調査
	PL-30		高橋 絵里奈	島根大学三瓶演習林におけるトレビルカメラの画像による野生動物生息調査
	PL-31		村川 直美子	UAVによる山形県におけるマツ材線虫病被害地の観測
	PL-32		福原 一成	カシノナガキクイムシの発生予測とルイスホソカラムシの天敵としての可能性
	PL-33		山崎 理正	体重と初速がカシノナガキクイムシの飛翔距離に及ぼすカスケード効果
微生物	PM-1 #	3/21	海老沼 駿人	シカ採食圧下の森林の下層植生回復に対する土壌細菌群集の影響
	PM-2 #	3/21	猪股 紗由	シカ採食圧下の森林における土壌微生物群集の特徴
	PM-3	3/21	上村 真由子	土壌表面や土壌中の木質リターの分解過程における微生物要因の影響の評価
	PM-4 #	3/21	高 亦凡	外生菌根樹木が枯れたら—土壌菌類群集の変化とそれに伴う有機物分解の促進
	PM-5 #	3/21	Aye Myat Myat Paing	Investigating soil and root fungal communities associated with <i>Betula ermanii</i> across diverse provenance trials
	PM-6 #	3/21	末吉 功季	ヤクスギ巨樹上の林冠土壌中の微生物群集の解明
	PM-7 #	3/21	米津 岳明	リター分解プロセスにおける樹種混交が微生物相へ与える影響
	PM-8 #	3/21	伊藤 愛	都内の街路と緑地に生育するケヤキに共生するAM菌群集の比較
	PM-9 #	3/21	田中 洋貴	広葉樹二次林における哺乳類による地上外生菌根性子実体の摂食
	PM-10 #	3/21	廣江 裕輝	外生菌根性子実体の胞子はナメクジの摂食によって散布されるか
	PM-11 #	3/22	清水 裕文	特異的プライマーによるトガサワラショウ菌検出の試み：約菌法との比較から
	PM-12	3/22	杉山 賢子	カラマツ植林地における外生菌根菌群集の時空間動態
	PM-13 #	3/22	瀬川 あすか	海岸の盛土に植栽されたクロマツの外生菌根の群集構造と酵素活性の解明
	PM-14 #	3/22	村上 陸	海岸クロマツ林に分布する外生菌根菌の群集構造に津波が及ぼす影響
	PM-15 #	3/22	山本 暁	高山帯風衝地の植生遷移と地衣類を構成する菌類および藻類の群集構造の変化
	PM-16 #	3/22	佐藤 喜子	<i>In vitro</i> における実生・外生菌根菌・根圏バクテリアの相互作用
	PM-17 #		高橋 佳史	ヌメリイグチ属培養菌糸の伸長成長を促進する寒天及び添加物濃度の検討
	PM-18 #	3/22	船 航太郎	菌根菌は混合栄養植物イチヤクソウの種子発芽に重要か
	PM-19		宮本 裕美子	北半球広域分布と系統解析によるハナイグチの再分類
	PM-20		山口 岳広	北海道のサワラ・イチイ類に幹辺材腐朽・溝腐れを起こす <i>Fomitiporia</i> 属菌
	PM-21	3/22	岩切 鮎佳	冷温帯林の落葉漂白部に種特異的に発生する <i>Hypoderma</i> 属菌
	PM-22 #	3/22	戴 健平	傷をつけた生立木の辺材部における腐朽初期の菌類相変化
	PM-23 #		野口 楓華	クリタマバチの虫えいとその周辺枝葉の菌相：微小分布と幼虫成長に伴う変遷
	PM-24		石原 誠	宮崎県のヤナギ植栽試験地で発生したいくつかの病害とその対策について
	PM-25		坂上 大翼	ユーカリ類の葉から分離した菌類の葉片に対する壊死斑形成能力
	PM-26		小坂 肇	多摩森林科学園におけるヒラタケ白こぶ病の発生消長
	PM-27	3/22	才木 真太郎	うどん粉病が葉表面の濡れ性に与える影響
	PM-28		白川 誠	ポプラのカルスから発根した不定根における境界細胞の観察
特用林産	PN-1	3/21	中軽米 聖花	セルトレイを用いたウルシ苗木の生産工程の構築
	PN-2 #	3/21	二社谷 悠太	漆掻きによる漆液の樹脂道内への補充総量の推定
	PN-3	3/21	松原 恵理	木材を原料としたアルコール飲料の官能評価-樹種間の比較-
T1	PT1-1 #	3/21	中辻 宏平	亜熱帯二次林における、森林の回復がアリ類の垂直群集に与える影響
	PT1-2 #		柴山 潤太	林相の違いや間伐が森林性鳥類群集に及ぼす影響：30年前と最近3年の比較
	PT1-3 #		安部 琴子	森林の階層構造と鳥類相の関係：とくにカラマツ・広葉樹混交林分に着目して
	PT1-4		小長谷 啓介	保持木の菌根タイプの違いが更新稚樹の外生菌根菌の多様性に及ぼす影響
	PT1-5	3/21	高橋 理	針葉樹人工林における間伐後の開空率と下層植生の経時変化
	PT1-6	3/21	林 珠乃	マラウイ湖国立公園周辺の地域住民による森林資源の利用の現状と将来展望
	PT1-7	3/21	小西 拓海	TNFDやAWS等のイニシアチブにおける森林保全活動の意義
	PT1-8	3/21	西澤 啓太	木材生産と生物多様性-生態系機能の保全を両立した森林施業方法の検討
T2	PT2-1 #	3/21	斎藤 万桜	長野県立高遠高校と東京農業大学第三高等学校での緑地敷前後の気分変化

ポスター一覧

: 学生ポスター賞の対象

部門	ポスター 番号	現地 掲示日	講演者氏名	発表題目
T4	PT4-1 #	3/21	趙 星一	スキャナ法で捉えた低次根の分岐構造の変化
	PT4-2 #	3/21	山形 拓人	自動化された根圏画像処理による細根フェノロジーの解明
	PT4-3 #	3/21	柳瀬 亮太	深さ1mまでのスギ細根次数別形態特性 - 根系掘取法と断面スキャナ法の比較
	PT4-4 #	3/21	吉田 陽向	深層学習を用いた自動抽出による1年間のヒノキ細根動態評価
	PT4-5 #	3/21	坂本 小雪	中央アルプス亜高山帯常緑針葉樹林における標高勾配に沿った細根動態
	PT4-6	3/21	福澤 加里部	ササ除去から年数が経過した森林土壌におけるササ及び樹木の細根バイオマス
	PT4-7 #	3/21	田中 優斗	林内における樹木根系形態計測に対するSfM/MVS法の有用性についての検討
	PT4-8 #	3/21	朴 敏玢	Effect of biochar and organic fertilizer on root development of <i>Zelkova serrata</i> seedlings in compacted soils
T5	PT5-1	3/21	五十嵐 康記	大規模山火災が河川中を介した放射性物質の再拡散に与える影響
	PT5-2	3/21	坂下 渉	安定同位体セシウムによる森林内の放射性セシウム循環の準平衡状態の評価
	PT5-3	3/21	篠宮 佳樹	事故後植栽木と事故汚染木のスギの面移行係数の比較
	PT5-4	3/21	伊藤 江利子	富山県の林齢が異なるコナラ林における面移行係数の特徴
	PT5-5		市川 貴大	落ち葉かきが落葉分解中の放射性セシウム濃度および量に及ぼす影響
	PT5-6	3/21	高橋 純子	スギ林土壌における ¹³⁷ Cs下方移行に対する間伐の影響
	PT5-7	3/21	山村 充	森林整備後に植栽したスギ・コナラの部位別放射性セシウム濃度分布
	PT5-8		齋藤 直彦	萌芽枝の放射性セシウム移行への樹種及び地形要因の影響
	PT5-9	3/21	成松 眞樹	岩手県のナラ林における土壌の交換性カリウムと萌芽の放射性セシウムの関係
	PT5-10	3/21	阪田 匡司	異なる斜面位置のコナラ当年枝の放射性セシウム濃度の変動要因

審査予定版